

## デジタルマルチメディアプロジェクター

形名 **PG-M20X**

## 取扱説明書



このたびはシャープデジタルマルチメディアプロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……4ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに必ず保存してください。万一、使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。

# 特長

## 1. 高輝度

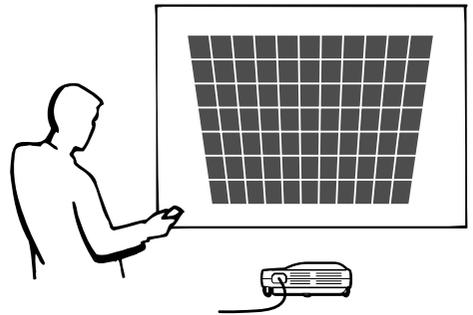
- DLP™方式と210Wランプの組み合わせにより、明るい部屋でも使用可能な高輝度映像を実現。
- 新開発DMD™素子採用により、高効率と高コントラストを実現。

## 2. 軽量・コンパクト・薄型ユニークデザイン

- 独自の直筒式光学エンジンを採用し、薄型ユニークデザインと、質量2.6kg・容積4.2リットルの軽量・コンパクト化を実現。

## 3. 先進の高画質設計

- 独自の新高画質ICの採用により、鮮やかな映像を実現。
  - 新I/P変換アルゴリズムで、動き検出I/P変換の性能向上  
動き部分での斜め線やエッジ部分のギザギザ感を大幅に改善。
  - コントラスト制御ダイナミックガンマ  
色相の変化を抑え、よりコントラスト感と階調再現性のある画像を実現。
  - カラーマネージメント機能  
sRGB(カラーマネージメント)に対応。
  - ノイズリダクション  
リダクション効果を高めても画面のボケ感を感じさせない、ノイズリダクションを実現。
  - 新輪郭強調  
斜め線になるエッジ部分の輪郭強調で起きるギザギザ感や、ちらつきを低減します。



## 4. 幅広いパソコン入力対応

- 200Hzまでのリフレッシュレート(垂直周波数)に対応。  
広範囲な同期信号に対応。
- UXGA(1600×1200)のコンピュータ出力画面で情報の欠落が少ない、アドバンスド・インテリジェント・コンプレッション表示が可能。

## 5. 静音設計

- 新技術カラーホイール軸受モーターと、インナーファンを採用。
- 流路抵抗(システムインピーダンス)の低減も行ない、静音を実現。

## はじめに

ページ

ページ

|                  |    |
|------------------|----|
| 特長               | 2  |
| もくじ              | 3  |
| 安全に正しくお使いいただくために | 4  |
| 使用上のご注意          | 8  |
| 各部のなまえ           | 10 |
| 本体               | 10 |
| リモコン             | 12 |
| リモコンの使いかた        | 13 |
| リモコンの使用範囲        | 13 |
| 乾電池の入れかた         | 13 |
| 付属品を確認する         | 14 |

## 設置と接続のしかた

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 設置のしかた                   | 16 |
| アジャスターの使いかた              | 16 |
| スクリーンを設置する               | 17 |
| 画面サイズと投映距離               | 18 |
| 反転映像を投映するとき              | 19 |
| 接続のしかた                   | 20 |
| 接続する前に                   | 20 |
| 接続例                      | 20 |
| 電源コードの接続                 | 20 |
| コンピュータを接続する              | 21 |
| ビデオ機器を接続する               | 23 |
| モニターを接続する                | 25 |
| リモコンのワイヤレスプレゼンテーション機能を使う | 26 |

## 基本操作

### ボタンで設定

|                        |    |
|------------------------|----|
| 投映のしかた                 | 28 |
| 電源を入れてから切るまで           | 28 |
| 画面表示言語を選ぶ              | 30 |
| レンズ調整                  | 31 |
| 画面の台形歪みを補正する(キーストーン補正) | 32 |

### メニューで設定

|                 |    |
|-----------------|----|
| メニュー表示内容一覧      | 34 |
| メニューの使いかた       | 36 |
| メニューの基本操作(調整)   | 36 |
| メニューの基本操作(設定)   | 38 |
| 映像を調整する         | 40 |
| 見やすい映像に調整する     | 40 |
| 信号の種類を設定する      | 41 |
| プログレッシブモードを設定する | 41 |
| コンピュータの画面を調整する  | 42 |
| 自動同期調整がOFFのとき   | 42 |
| 画面調整の内容を登録する    | 42 |
| 登録した調整内容を呼び出す   | 43 |
| 特殊モード調整         | 43 |
| 入力信号情報を表示する     | 43 |
| 自動同期調整          | 44 |
| 自動同期調整時の画面表示機能  | 44 |

## 便利な機能を使う

|            |    |
|------------|----|
| 画像表示モードを選ぶ | 46 |
| 静止画機能      | 48 |

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 映像をデジタル拡大する              | 49 |
| ガンマ補正                    | 50 |
| 2つの画像を表示する(P in P)       | 51 |
| 省電力機能を設定する               | 52 |
| 省電力モードにする                | 52 |
| 無信号時自動電源オフ機能             | 52 |
| sRGBカラーマネージメント機能を動作させる   | 53 |
| 自動入力サーチを設定する             | 53 |
| ドットのちらつきやノイズを軽減する        | 54 |
| 画面表示を設定する                | 54 |
| 再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する   | 55 |
| 投映画像を取り込む(カスタムイメージキャプチャ) | 56 |
| 画像を取り込む                  | 56 |
| 取り込んだ画像を消去する             | 56 |
| 無信号時に表示する画面を設定する         | 57 |
| オープニング画面を選ぶ              | 57 |
| RGBモニター出力用アダプターを使う       | 58 |
| ランプの使用時間を表示する            | 58 |
| 休憩時間を表示する                | 59 |
| 休憩時間の表示と設定               | 59 |
| 休憩時間を解除したいとき             | 59 |
| 映像の左右反転/上下反転のしかた         | 60 |
| プロジェクターの操作ボタンをロックする      | 60 |
| キーロックの設定                 | 60 |
| キーロックの解除のしかた             | 61 |
| パスワードを設定する               | 61 |
| パスワードを入力する               | 61 |
| パスワードを変更する               | 62 |
| パスワードを忘れてしまったら           | 62 |
| システムロックを設定する             | 63 |
| キーコードを入力する               | 63 |
| キーコードを変更する               | 64 |
| 設定内容を初期化する               | 65 |
| 調整内容を一覧表示する              | 66 |

## 付録

|                      |    |
|----------------------|----|
| プロジェクターを持ち運ぶ         | 68 |
| お手入れのしかた             | 69 |
| お知らせ表示について           | 70 |
| ランプについて              | 71 |
| ランプについて              | 71 |
| ランプ使用上のご注意           | 71 |
| ランプを交換する             | 71 |
| ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け  | 72 |
| ランプ使用時間(タイマー)をリセットする | 73 |
| 本体のコネクタのピン配置         | 74 |
| RGB入力信号(推奨信号)について    | 75 |
| 故障かな?と思ったら           | 76 |
| アフターサービスについて         | 77 |
| お客様ご相談窓口のご案内         | 78 |
| 仕様                   | 79 |
| 寸法図                  | 80 |
| 用語集                  | 82 |
| 索引                   | 83 |

# 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



## 警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



## 注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

### 図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

## 警告

煙が出ている、変なおいや音がするなど  
異常状態のときは電源プラグを抜く



- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない



- この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

### 高圧注意

- サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

## ⚠ 警告

### 指定された電源電圧で使用する



- 表示された電源電圧（交流100～240ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

### プロジェクターを落としたときは



- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

### レンズをのぞかない



- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



### 高温部には触れない



- 投映中は、排気孔、光源ランプ交換カバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



### 不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

### 天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

### 内部にもものや水などを入れない



- この機器の開口部（通風孔など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

### 上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- この機器に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

### 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 雷が鳴りはじめたら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

# 安全に正しくお使いいただくために(つづき)

## ⚠ 警告

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



## ⚠ 注意

湿気やほこりの少ない場所に置く



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



重いものを置かない



- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。
- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。



置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

**⚠ 注意**

|  |   |
|--|---|
| <p><b>移動させるときは必ず接続線ははずす</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>  | <p><b>電源コードを熱器具に近づけない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>   |
| <p><b>電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>   | <p><b>長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行などで長時間ご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</li> </ul>  |
| <p><b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</li> </ul>  | <p><b>お手入れのときは電源プラグを抜く</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</li> </ul>   |
| <p><b>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む</b></p>   <ul style="list-style-type: none"> <li>● 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。</li> <li>● 電源プラグは、根元まで差し込んでゆりみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。</li> </ul> | <p><b>3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。</li> </ul> |
| <p><b>指定以外の電池は使わない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> </ul>  | <p><b>電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池を機器内に挿入する場合極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> </ul>                     |

# 使用上のご注意

## 設置するときは次の点にご注意ください

### ホコリ、湿気の少ないところへ

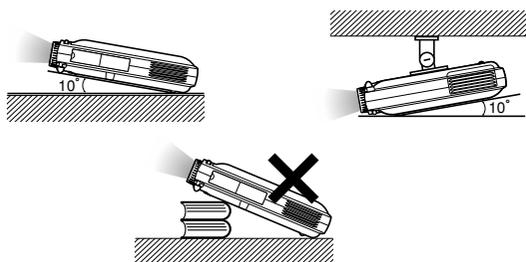
- 湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

### 直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

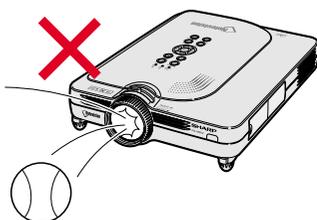
### 本機を設置するときは、前後方向に10°以上傾けないようにしてください

- 設置範囲(水平に対する角度)±10°



### 衝撃を与えないでください

- レンズには、特にご注意ください。表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



### 目をときどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

### 高温、低温の場所はさけてください

- 使用温度範囲 5℃～35℃
- 保存温度範囲 -20℃～60℃

### 排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。
- 排気孔や吸気孔をふさがないように設置してください。
- 冷却ファンがふさがれると、保護回路が働き自動的に電源が切れます。これは故障ではありません。電源プラグをコンセントから抜き、10分以上はそのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがらない位置でもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。プロジェクターは正常な状態に戻ります。

### 持ち運びのご注意

- 持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。

### 接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。



温度

### 温度モニター機能

■ 設置状況や通風孔の目づまり等によりプロジェクター内部の温度が高温になると、「温度」マークが画面の左下で点滅します。さらに温度が上昇し続けると、光源(ランプ)が消灯し、プロジェクターの温度モニターお知らせ表示(ランプ)が点滅し、90秒間の冷却期間の後、電源が切れます。詳細については70ページの「お知らせ表示について」をご覧ください。

#### 📖 お知らせ

- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変わることがありますが、ファンの速さを変えているため、故障ではありません。
- 投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

## 海外でご使用になるときは

■ お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

## ランプ交換に関する注意

■ “ランプについて”(71ページ)もご覧ください。

### ■ 廃棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

## ランプ交換ユニットに関する注意

■ ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

- DLP™(Digital Light Processing)、DMD™(Digital Micromirror Device)は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/ATは米国IBM社の登録商標です。
- Macintoshはアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- 本製品のICチップの中には、米国テキサスインスツルメンツ社の営業秘密が含まれているICチップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリングもしくはディスアセンブリングをすることは禁じられております。

### 知的財産権

**重要** 製品を使用する前にお読みください。

本製品にはLineo, Inc. (以下「Lineo」という)がシャープ株式会社にライセンス供与したソフトウェアが含まれています。本ソフトウェアは著作権法、国際著作権条約及びその他知的財産法及び協定により保護されています。Lineo及びそのサプライヤーが、本ソフトウェアのソフトウェア・コンポーネント及びそのコピー一切の所有権及び知的財産権(著作権を含む)を保持します。

但し、本ソフトウェアの一部コンポーネントはLineoが支援している、GNUジェネラル・パブリック・ライセンス(バージョン2)に従いライセンス付与されているコンポーネントです。GNUジェネラル・パブリック・ライセンスのコピーは<http://www.fsf.org/copyleft/gpl.html>にて入手できます。Lineoではそれに従いライセンス付与されているコンポーネントのソースコードを提供しますので、希望者はOEM、embedix-support@lineo.comまでご連絡下さい。

OS: Embedix(Embedded Linux) Embedix(TM)は、米国LINEO, Inc.の登録商標です。

# 各部のなまえ

## 本体

**ランプ交換お知らせ表示**  
通常は緑色で点灯。赤色で点灯したときはランプ交換が必要です。

**電源表示**  
待機状態では赤色で点灯。電源を入れると緑色で点灯します。

**POWER(電源入/切)ボタン**  
電源を入/切します。

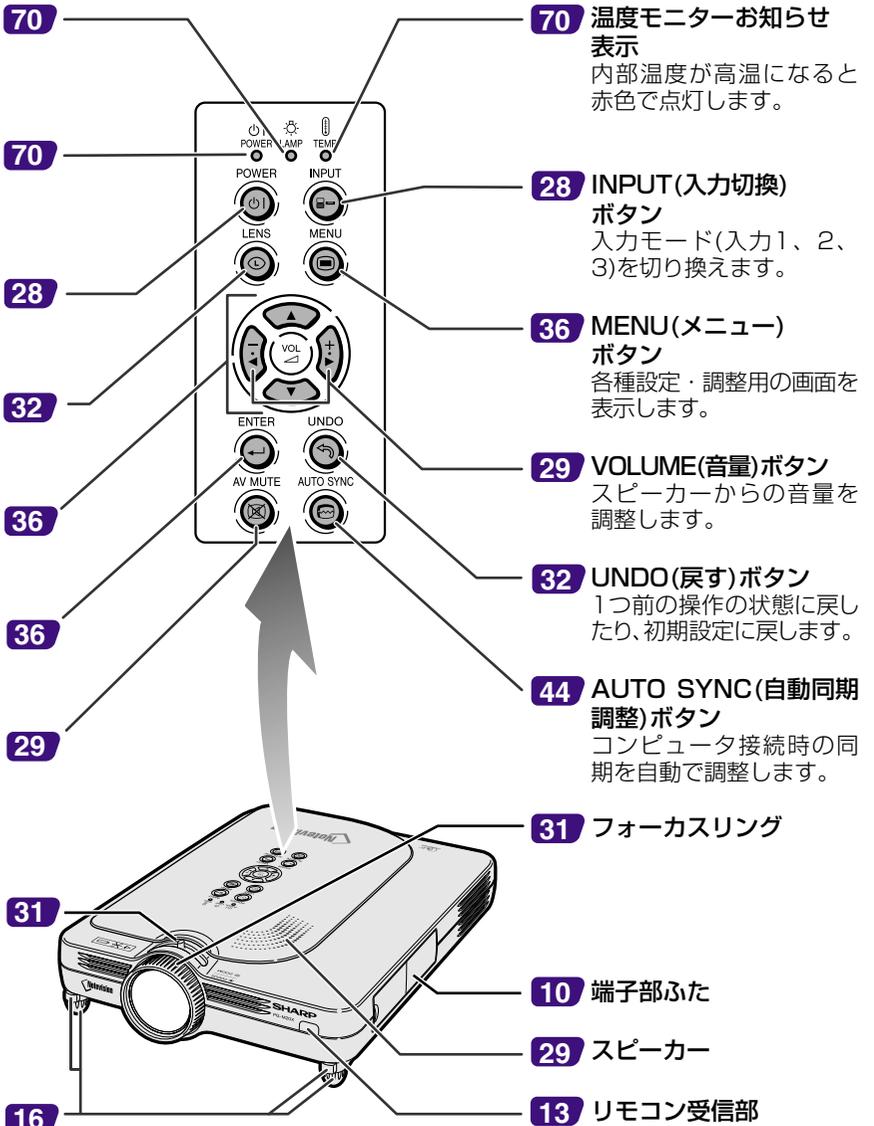
**LENS(レンズ)ボタン**  
キーストーン・デジタルシフトの各調整を行います。

**カーソルボタン(▼▲◀▶)**  
メニュー項目の選択に使用します。

**ENTER(決定)ボタン**  
メニューで選択調整した項目を決定します。

**AV MUTE(AVミュート)ボタン**  
プロジェクターからの映像と音を一時的に消します。

**アジャスター/アジャスターリリースボタン**  
プロジェクターの傾きを調整します。



**70 温度モニターお知らせ表示**  
内部温度が高温になると赤色で点灯します。

**28 INPUT(入力切換)ボタン**  
入力モード(入力1、2、3)を切り換えます。

**36 MENU(メニュー)ボタン**  
各種設定・調整用の画面を表示します。

**29 VOLUME(音量)ボタン**  
スピーカーからの音量を調整します。

**32 UNDO(戻す)ボタン**  
1つ前の操作の状態に戻したり、初期設定に戻します。

**44 AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン**  
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

**31 フォーカスリング**

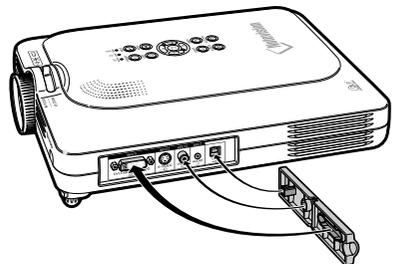
**ズームレバー 31**

**10 端子部ふた**

**29 スピーカー**

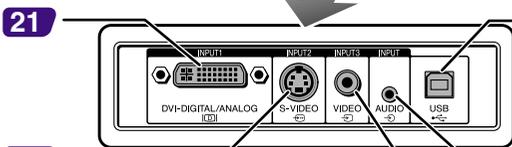
**13 リモコン受信部**

**端子部ふたの取り付けかた**  
図のように、ふたと端子の位置を合わせて押し込んでください。



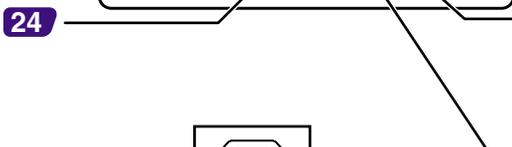


**INPUT(入力)1端子**  
DVIデジタル/コンピュータ  
RGB/コンポーネント(色差)  
の入力用端子です。



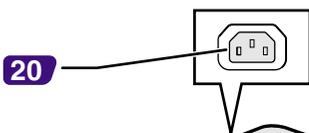
**26** **USB端子**  
USBケーブルを使ってコ  
ンピュータと接続します。

**INPUT(入力)2端子**  
S端子付きビデオ機器など  
と接続するときに使用します。



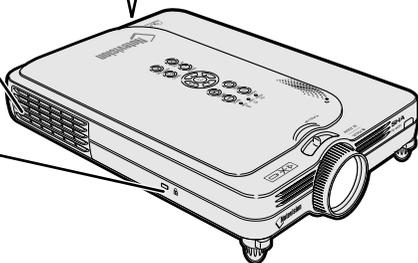
**21** **INPUT(入力)  
AUDIO(音声)端子**  
入力1/入力2/入力3共  
用の音声入力端子です。

**AC電源ソケット**  
付属の電源コードを接続し  
ます。



**24** **INPUT(入力)3端子**  
ビデオ機器などと接続  
するときに使用します。

**排気孔** **8**



**盗難防止用コネクター**  
(Kensington Security  
Standard connector)

**11**

### 盗難防止用コネクターについて

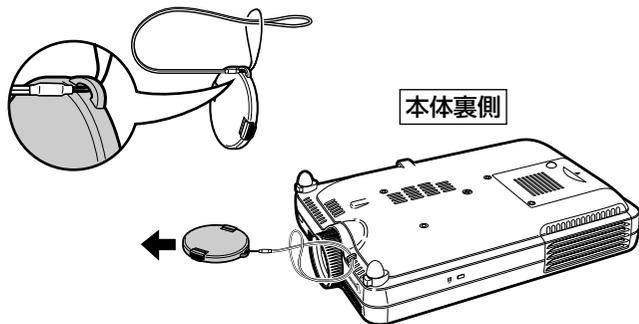
- 市販の盗難防止用ケーブル (Kensington社製) などを接続することができます。



■盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。  
日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。  
日本ポラロイド株式会社 電子映像グループ  
〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル  
TEL 03-3438-8879 FAX 03-5473-1630

### レンズキャップの取り付けかた

図のように、レンズキャップにひもを通してから、本体裏側にひもを通してください。



# 各部のなまえ(つづき)

## リモコン

リモコン信号発信部

### FORWARD/BACK (送り/戻し)ボタン

USBケーブルでパソコンと接続しているとき、コンピュータの「Page Down」「Page Up」ボタンと同じ働きをします。

### AV MUTE (AVミュート)ボタン

プロジェクターからの映像と音を一時的に消します。

### VOLUME(音量)ボタン

スピーカーからの音量を調整します。

### INPUT(入力)2ボタン

入力モードをINPUT2に切り換えます。

### INPUT(入力)1ボタン

入力モードをINPUT1に切り換えます。

### AUTO SYNC (自動同期調整)ボタン

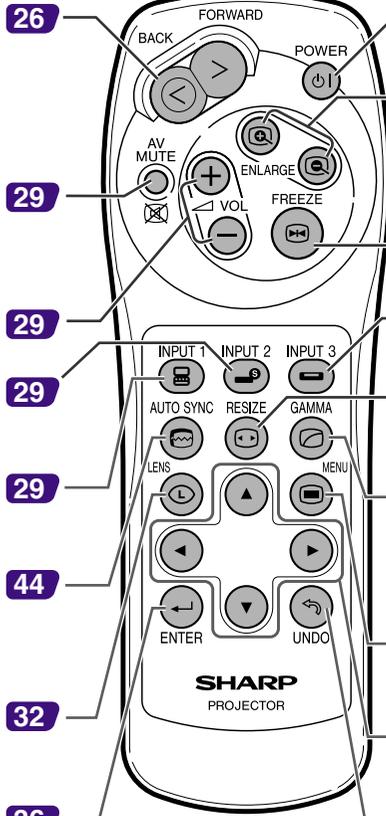
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

### LENS(レンズ)ボタン

キーストーン・デジタルシフトの各調整を行います。

### ENTER(決定)ボタン

メニューで選択調整した項目を決定します。



**28** POWER(電源入/切)ボタン  
電源を入/切します。

**49** ENLARGE+/-  
(拡大/縮小)ボタン  
投映画面の部分拡大や縮小を行うのに使用します。

**48** FREEZE(静止画)ボタン  
映像を静止画の状態にします。

**29** INPUT(入力)3ボタン  
入力モードをINPUT3に切り換えます。

**46** RESIZE(画面サイズ)ボタン  
画面サイズ(ズームや標準)を切り換えます。

**50** GAMMA(ガンマ補正)ボタン  
部屋の明るさの違いなどにより、投映画像が見にくい場合など、映像の明るさを補正します。4種類のモードから選べます。

**36** MENU(メニュー)ボタン  
各種設定・調整用の画面を表示します。

**36** カーソルボタン(▼▲◀▶)  
メニュー設定に使用します。

**32** UNDO(戻す)ボタン  
1つ前の操作状態に戻したり、初期設定状態に戻します。

# リモコンの使いかた

## リモコンの使用範囲

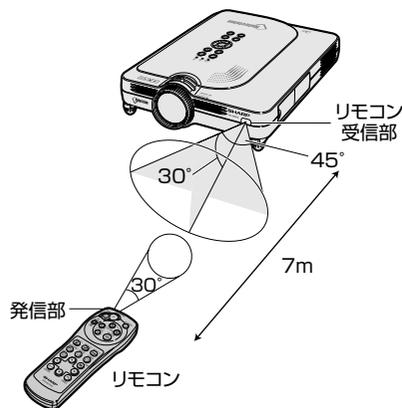
■リモコンの使用範囲は図のとおりです。

### メモ

- リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

### リモコン使用上のご注意

- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。



## 乾電池の入れかた

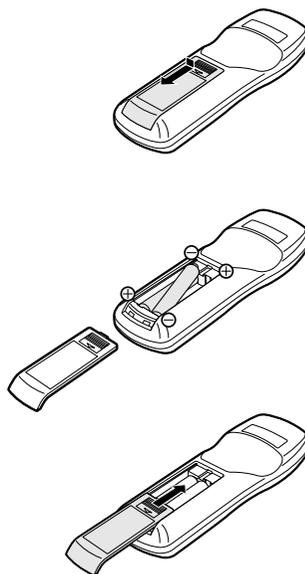
乾電池はこの取扱説明書といっしょに入っています。  
〔単4形 (R03) 2本〕

**1** カバーを矢印の方向にスライドさせ、開ける

**2** 付属の乾電池を入れる

- プラス $\oplus$ とマイナス $\ominus$ を、表示のとおり正しく入れてください。

**3** カバーを矢印の方向にスライドさせ、閉める



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

### ⚠ 注意

- 乾電池のプラス $\oplus$ とマイナス $\ominus$ を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。  
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。  
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

# 付属品を確認する

## 付属品



リモコン



単4形乾電池 (2本)



電源コード (1.8m)



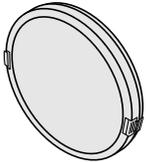
DVI/15ピンミニD-sub  
ケーブル (1.8m)



USBケーブル (1.8m)



キャリングバッグ



レンズキャップ  
(装着出荷)



レンズキャップストラップ



端子部ふた  
(装着出荷)

取扱説明書 (本書)  
保証書

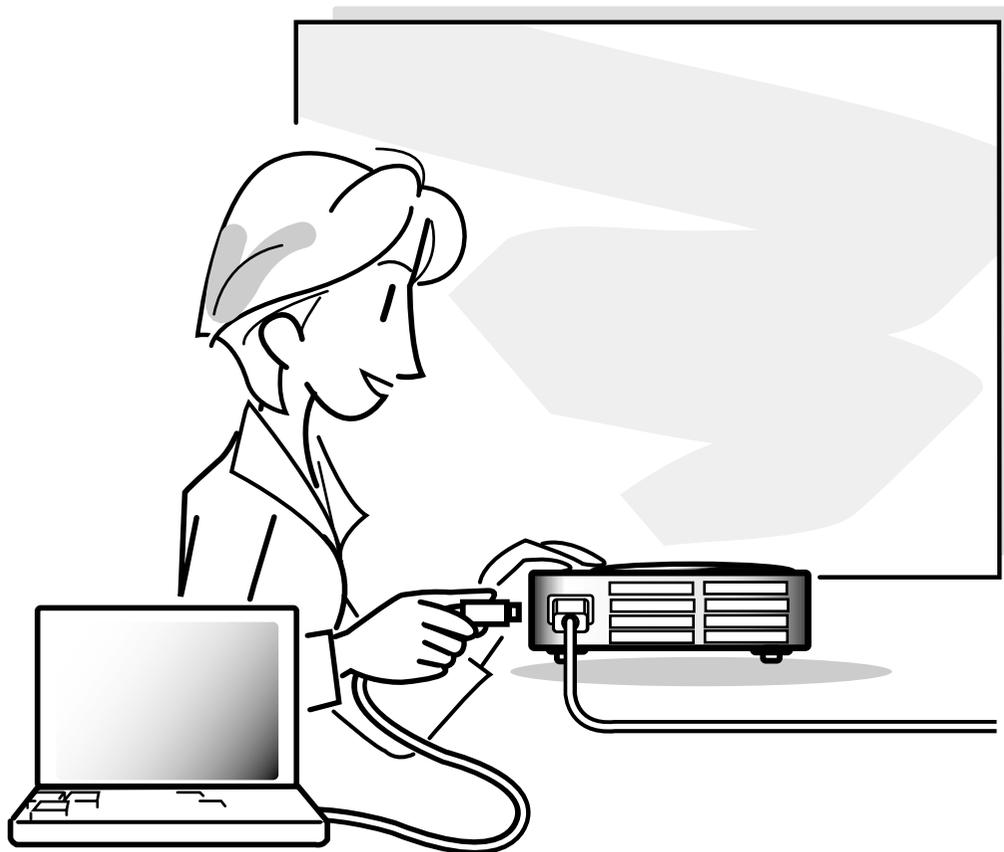
## 別売品のご案内

### ケーブル

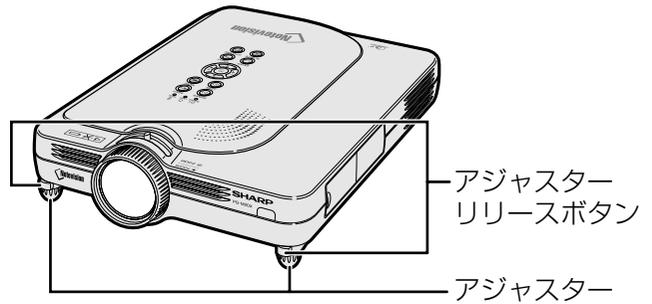
|                               |   |
|-------------------------------|---|
| RGBモニター出力用アダプター (20cm)        | AN-A1MY   |
| DVIデジタルケーブル (3m)              | AN-C3DV   |
| DVI/15ピンミニD-sub変換アダプター (20cm) | AN-A1DV   |
| コンピュータRGBケーブル (10m)           | AN-C10BM <IBM-PC系・PC9821系・PC98NX系><br>AN-C10PC <PC98系用 (PC9821系・PC98NX系除く)> |
| 3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル (3m)   | AN-C3CP   |
| 5BNC/15ピンミニD-subケーブル (3m)     | AN-C3BN   |

- パソコン側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、パソコンの仕様をご確認ください。  
変換コネクタ (市販品) が必要な場合があります。

# 設置と接続のしかた



# 設置のしかた



## アジャスターの使いかた

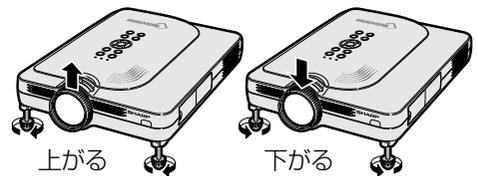
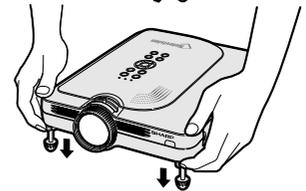
スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。

スクリーンよりプロジェクターが低いときは、傾けることで投影画面の位置を高くすることができます。

### 1 アジャスターリリースボタンを押す

### 2 プロジェクターを持ち上げて高さを調整し、アジャスターリリースボタンから手を離す

### 3 アジャスターをまわして、微調整する



#### メモ

- 元に戻すときは、プロジェクターをしっかり持ってアジャスターリリースボタンを押さえて下へおろします。
- プロジェクターは標準位置から約5.5度まで角度調整することができます。

#### お知らせ

- アジャスターが伸びている状態でアジャスターリリースボタンを押すときは、プロジェクターをしっかりささえて高さを調整してください。
- プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。
- プロジェクターを下げるとき、プロジェクターとアジャスターの間に指をはさまないように注意してください。

## スクリーンを設置する

プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

### メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んでしまい、見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。
- このプロジェクターは偏光スクリーン対応ではありません。

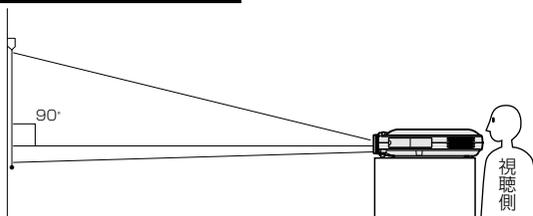
### 基本的な設置（前面からの投映）

- 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（18ページ）



### 基本設置例

#### 横から見たとき

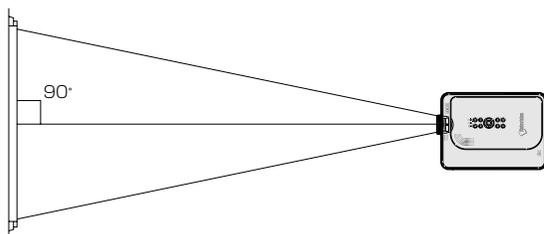


- スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

18ページ

- スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままで投映できます。投映した画面の上下左右が反転している場合は、「投映方式」のサブメニューで、「フロント」に設定し直してください。

#### 上から見たとき

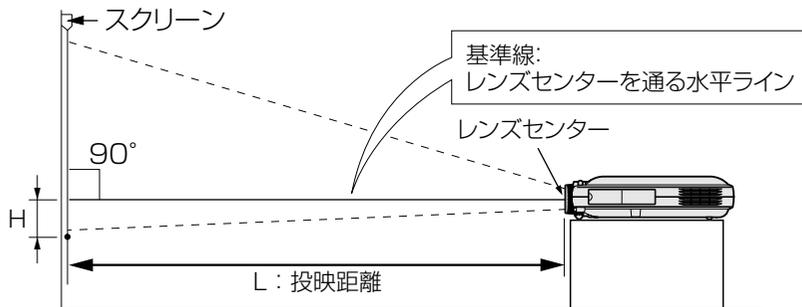


- レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。

60ページ

# 設置のしかた(つづき)

## 画面サイズと投映距離



4:3ズームモード (コンピュータ入力時は、標準モード表示となります。) (47ページ)

| 画面サイズ |       |        | 投映距離(L) |        | レンズセンター位置から    |
|-------|-------|--------|---------|--------|----------------|
| 対角(型) | 幅(cm) | 高さ(cm) | L1:最長   | L2:最短  | 画面の最下段までの距離(H) |
| 300   | 609.6 | 457.2  | —       | 12.0 m | 0.0 cm         |
| 250   | 508.0 | 381.0  | 12.1 m  | 10.0 m | 0.0 cm         |
| 200   | 406.4 | 304.8  | 9.7 m   | 8.0 m  | 0.0 cm         |
| 150   | 304.8 | 228.6  | 7.2 m   | 6.0 m  | 0.0 cm         |
| 100   | 203.2 | 152.4  | 4.8 m   | 4.0 m  | 0.0 cm         |
| 80    | 162.6 | 121.9  | 3.8 m   | 3.2 m  | 0.0 cm         |
| 70    | 142.2 | 106.7  | 3.4 m   | 2.8 m  | 0.0 cm         |
| 60    | 121.9 | 91.4   | 2.9 m   | 2.4 m  | 0.0 cm         |
| 40    | 81.3  | 61.0   | 1.9 m   | 1.6 m  | 0.0 cm         |

画面サイズと投映距離の近似式  
 $L1 = 0.048539x - 0.037278$   
 $L2 = 0.040172x - 0.037561$   
 $H = 0$

x : 画面サイズ (型)  
 L : 投映距離 (m)  
 L1 : 最長投映距離  
 L2 : 最短投映距離  
 H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

## 16:9スクイーズ (フル) モード

| 画面サイズ |       |        | 投映距離(L) |        | レンズセンター位置から    |
|-------|-------|--------|---------|--------|----------------|
| 対角(型) | 幅(cm) | 高さ(cm) | L1:最長   | L2:最短  | 画面の最下段までの距離(H) |
| 250   | 553.5 | 311.3  | —       | 10.9 m | -51.9 cm       |
| 225   | 498.1 | 280.2  | 11.9 m  | 9.8 m  | -46.7 cm       |
| 200   | 442.8 | 249.1  | 10.5 m  | 8.7 m  | -41.5 cm       |
| 150   | 332.1 | 186.8  | 7.9 m   | 6.5 m  | -31.1 cm       |
| 130   | 287.8 | 161.9  | 6.8 m   | 5.7 m  | -27.0 cm       |
| 100   | 221.4 | 124.5  | 5.3 m   | 4.3 m  | -20.8 cm       |
| 90    | 199.2 | 112.1  | 4.7 m   | 3.9 m  | -18.7 cm       |
| 80    | 177.1 | 99.6   | 4.2 m   | 3.5 m  | -16.6 cm       |
| 70    | 155.0 | 87.2   | 3.7 m   | 3.0 m  | -14.5 cm       |
| 60    | 132.8 | 74.7   | 3.1 m   | 2.6 m  | -12.5 cm       |
| 40    | 88.6  | 49.8   | 2.1 m   | 1.7 m  | -8.3 cm        |

画面サイズと投映距離の近似式  
 $L1 = 0.052882x - 0.037278$   
 $L2 = 0.043766x - 0.037561$   
 $H = -0.2075x$

## 4:3標準モード

| 画面サイズ |       |        | 投映距離(L) |        | レンズセンター位置から    |
|-------|-------|--------|---------|--------|----------------|
| 対角(型) | 幅(cm) | 高さ(cm) | L1:最長   | L2:最短  | 画面の最下段までの距離(H) |
| 200   | 406.4 | 304.8  | —       | 10.7 m | -50.8 cm       |
| 180   | 365.8 | 274.8  | 11.6 m  | 9.6 m  | -45.7 cm       |
| 150   | 304.8 | 228.6  | 9.7 m   | 8.0 m  | -38.1 cm       |
| 100   | 203.2 | 152.4  | 6.4 m   | 5.3 m  | -25.4 cm       |
| 80    | 162.6 | 121.9  | 5.1 m   | 4.2 m  | -20.3 cm       |
| 70    | 142.2 | 106.7  | 4.5 m   | 3.7 m  | -17.8 cm       |
| 60    | 121.9 | 91.4   | 3.8 m   | 3.2 m  | -15.2 cm       |
| 40    | 81.3  | 61.0   | 2.6 m   | 2.1 m  | -10.2 cm       |

画面サイズと投映距離の近似式  
 $L1 = 0.064719x - 0.037278$   
 $L2 = 0.053563x - 0.037561$   
 $H = -0.254x$



- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に- (マイナス記号) がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示しています。

## 反転映像を投映するとき

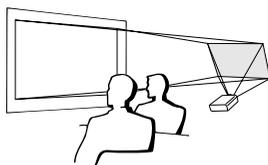
### スクリーン背後からの投映

- 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
- メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(60ページ)



### ミラーを使った投映

- レンズの正面にミラー（表面鏡）を設置してください。
- 視聴者側にミラーを置くときは、メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(60ページ)

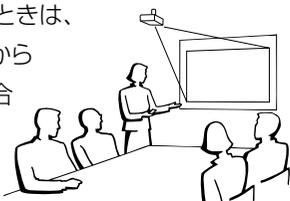


### お知らせ

- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

### 天井取り付けによる投映

- 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび取り付けアダプター「AN-60KT」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。  
別売の取り付けアダプター「AN-60KT」の取り付けは、天吊りアダプターに付属されている説明書をご覧ください。
- プロジェクターを天井に設置するときは、**18**ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。
- メニューの投映方式を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。



工場出荷時の設定で投映すると…

#### ▼画面表示



映像の左右を反転します

工場出荷時の設定で投映すると…

#### ▼画面表示



映像の左右を反転します

工場出荷時の設定で投映すると…

#### ▼画面表示



映像の上下を反転します

# 接続のしかた

## 接続する前に

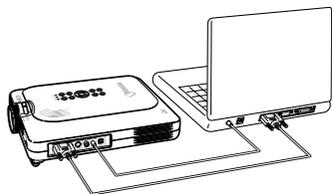


- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。
- 接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

## 接続例

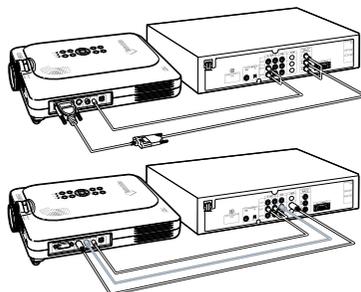
### コンピュータとの接続

- DVI/15ピンミニD-subケーブルを使って接続します。くわしくは21ページをご覧ください。
- DVIデジタルケーブル「AN-C3DV」(別売品)を使って接続します。くわしくは22ページをご覧ください。



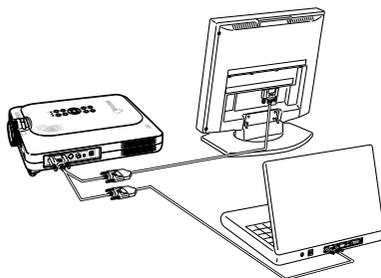
### ビデオ、オーディオ機器との接続

- DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどコンポネント(色差)出力端子付機器と接続します。くわしくは23ページをご覧ください。
- ビデオやレーザーディスクなどと接続します。くわしくは24ページをご覧ください。



### モニターとの接続

- RGBモニター出力用アダプター「AN-A1MY」(別売品)と市販のRGBケーブルを使って接続します。くわしくは25ページをご覧ください。



## 電源コードの接続

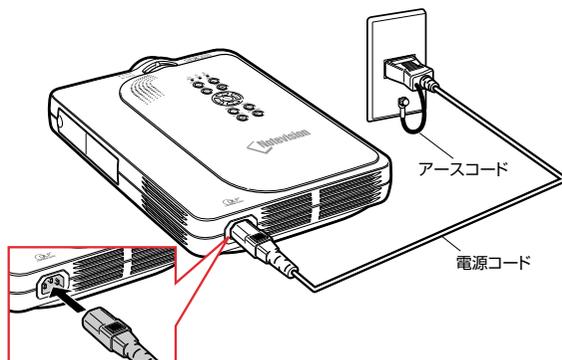
### 1 プロジェクターの背面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

付属品



電源コード



# コンピュータを接続する

## DVI/15ピンミニD-subケーブルを使って接続する

### 1 付属のDVI/15ピンミニD-subケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

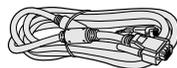
- ネジをしめて確実に接続してください。

### 2 音声を入力する場合は、φ3.5音声ケーブル(市販品)を使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

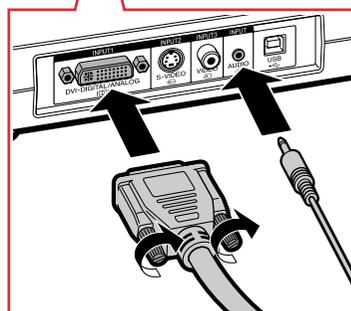
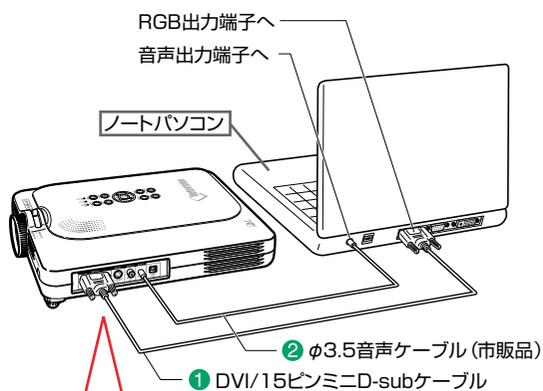
#### メモ

- 対応しているコンピュータの表示モードについては、75ページ「RGB入力信号(推奨信号)」についてをご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- この方法で接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「RGB入力」に設定してください。(41ページ)
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様相談センターへお問い合わせください。

付属品



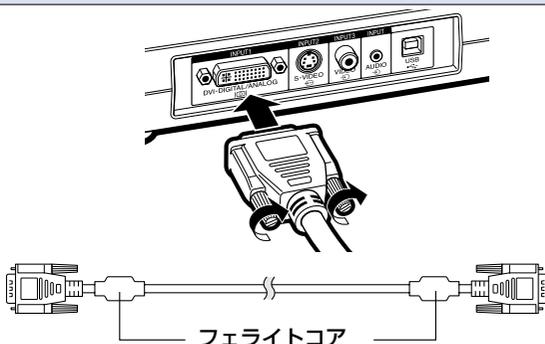
DVI/15ピンミニD-subケーブル(1.8m)



設置と接続のしかた

## 固定ネジ付ケーブルの取り扱いについて

- 固定ネジ付ケーブルは、端子の形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。
- DVI/15ピンミニD-subケーブルについているフェライトコアは、電気用品安全法に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。



# 接続のしかた(つづき)

## DVIデジタルケーブル(別売品)を使って接続する

本機はコンピュータのデジタル映像信号を直接入力できるDVIデジタル入力端子を標準装備しています。

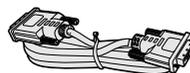
**1** DVIデジタルケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

**2** 音声を入力する場合は、φ3.5音声ケーブル(市販品)を使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

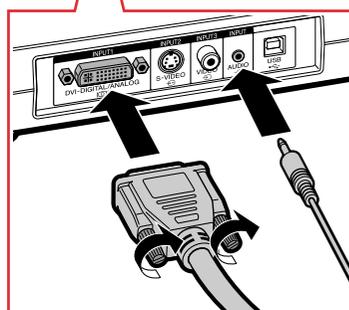
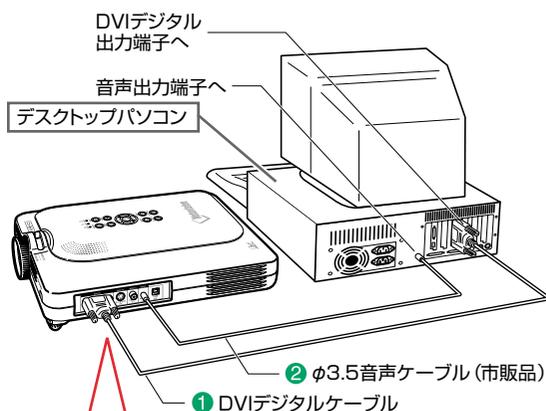
### メモ

- このDVIデジタル端子はDVIバージョン1.0に対応しています。したがってコピーガードシステムに対応しているシステム(DVIバージョン2.0)を接続した場合、信号を受信できません。

別売品



DVIデジタルケーブル  
形名: AN-C3DV(3m)



## 「プラグ&プレイ」機能(15ピン端子に接続する)

- 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信(通信)しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
- 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、必ずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

### メモ

- 本機のDDC プラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

# ビデオ機器を接続する

## コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器と接続する

BSビデオデジタルチューナーやDVDプレーヤーなど、コンポーネント(色差)出力端子のある機器をINPUT(入力)1端子に接続するときは、別売品の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル「AN-C3CP」とDVI/15ピンミニD-sub変換アダプター「AN-A1DV」を使って接続します。

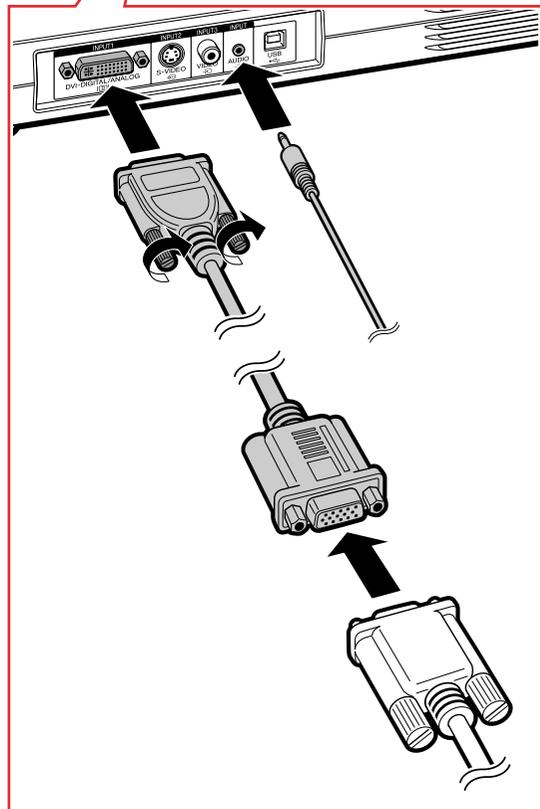
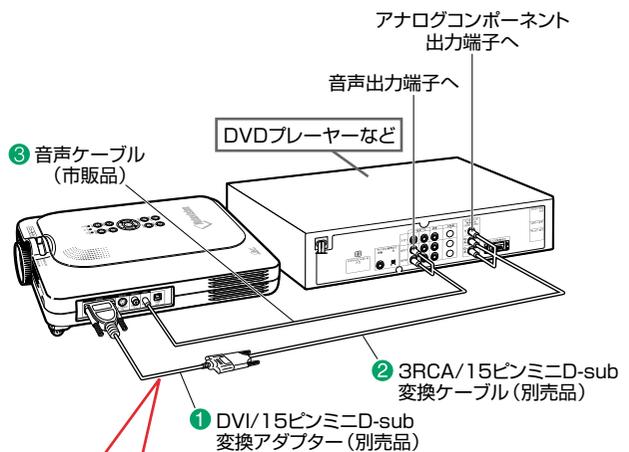
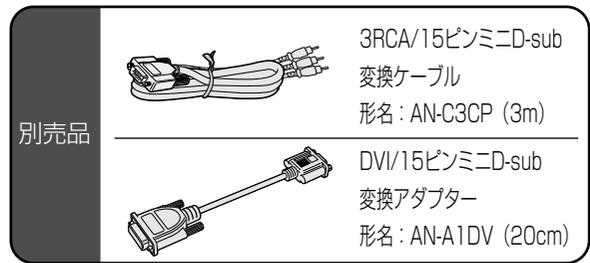
**1** 3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルとDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターを使って接続する

**2** 接続したケーブルを使って、プロジェクターとビデオ機器を接続する

**3** 音声ケーブル(市販品)でプロジェクターとビデオ機器の音声出力端子を接続する

### メモ

- この方法で接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「色差入力」に設定してください。(41ページ)
- 525Pの信号を入力したときは、特殊モードの解像度を「480P」に設定してください。(43ページ)
- 音声ケーブル(市販品)は、φ3.5ミニプラグ/RCAプラグのタイプをご用意ください。



# 接続のしかた(つづき)

## ビデオ機器を市販のS映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使って接続する

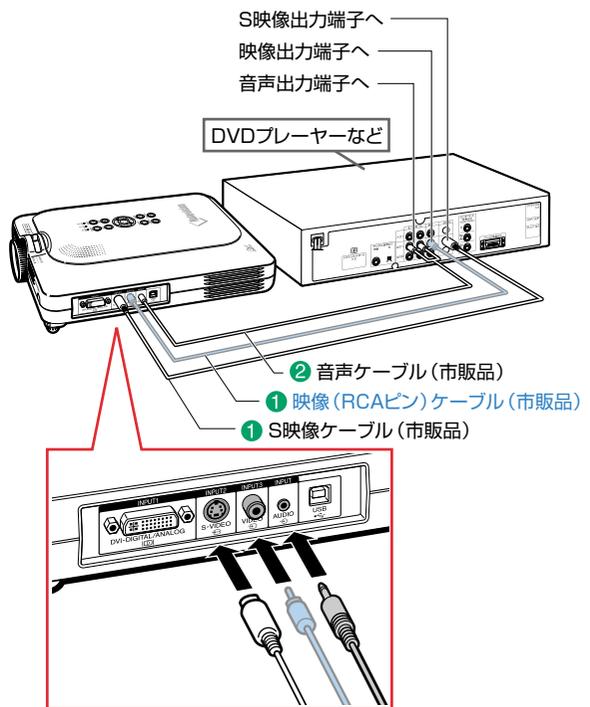
ビデオやレーザーディスクプレーヤーなどを市販のS映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使ってINPUT(入力)2端子、INPUT(入力)3端子、AUDIO(音声)端子に接続します。

**1** 市販のS映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って、プロジェクターとビデオ機器を接続する

**2** 音声ケーブル(市販品)を使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する

### メモ

- S映像端子に採用されているビデオ信号は、色信号と輝度信号に分かれています。より高品位な画像再生のため、プロジェクターのS映像端子とビデオ機器のS映像出力端子を市販のS映像ケーブルで接続してお使いください。
- 音声ケーブル(市販品)は、φ3.5ミニプラグ/RCAプラグのタイプをご用意ください。



# モニターを接続する

## プロジェクターとモニターの両方で映像を見る

RGBモニター出力用アダプター(別売品)と市販のRGBケーブルを使って、コンピュータの出力をプロジェクターとモニターの両方で表示させることができます。

**1** RGBモニター出力用アダプター(別売品)と市販のRGBケーブルを使って、プロジェクターとモニター、コンピュータを接続する

**2** メニュー「オプション1」の「モニター出力」を「使用する」に設定する

- ・「使用しない」に設定したときは、映像が暗く投映されますが、故障ではありません。くわしくは58ページをご覧ください。

### メモ

- ・RGBモニター出力用アダプター(別売品)を使用したときは、必ずモニターへケーブルを接続してください。
- ・アナログRGB信号およびコンポーネント(色差)信号をモニター出力することができます。

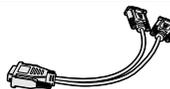
### お知らせ

- ・DVI端子に入力したアナログRGB/コンポーネント信号のみ出力されます。DVIデジタル接続した機器の信号は出力されません。

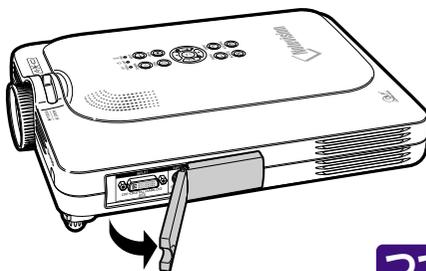
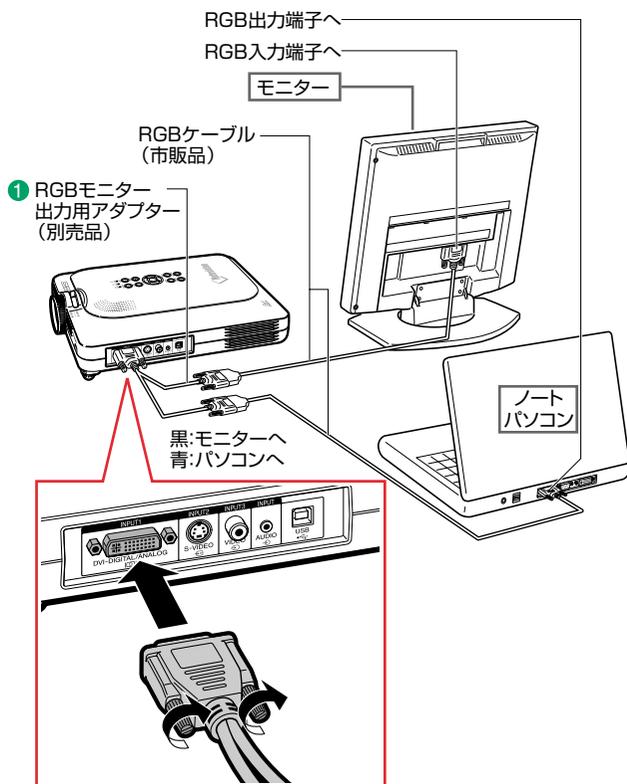
## 端子部ふたをつけたままINPUT(入力)1端子を使う

端子部ふたを図のように折り曲げてつくと、ふたをつけた状態でINPUT(入力)1端子を使うことができます。

別売品



RGBモニター出力用アダプター  
形名: AN-A1MY (20cm)



つづく

## リモコンのワイヤレスプレゼンテーション機能を使う

本機のワイヤレスプレゼンテーション機能は、コンピュータの「Page Up」「Page Down」ボタンと同じ働きをします。プレゼンテーションソフト(Power Point等)の画面の送り/戻しが行えます。

### ワイヤレスプレゼンテーション機能を使う

#### 1 USBケーブル(付属品)を使って、プロジェクターとコンピュータを接続する

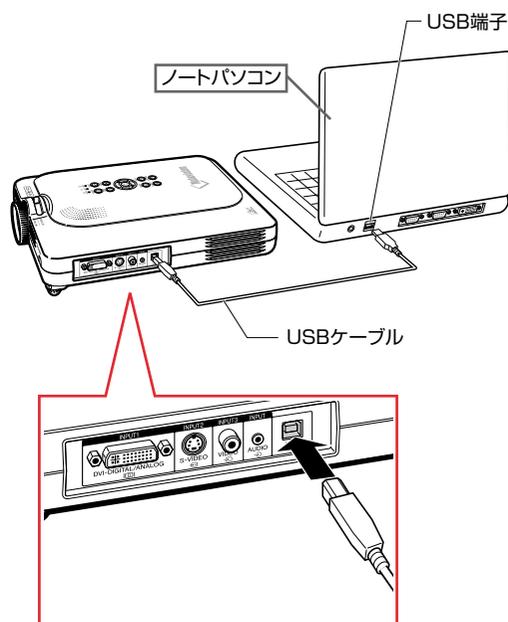


- この機能はMicrosoft Windows OSとMac OSでのみ動きます。但しOSが次のバージョンの場合は動きません。
- OSがWindows95以前、Windows NT4.0以前または、Mac OS 8.5以前の場合は、USBをサポートしていないため使用できません。

付属品

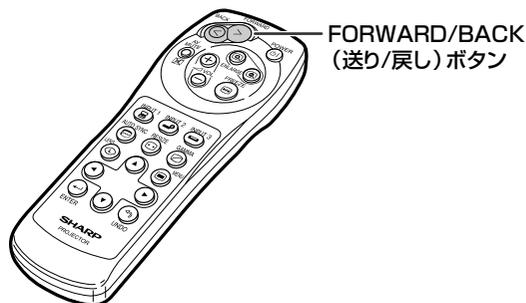


USBケーブル(1.8m)



#### 2 パソコンでプレゼンテーションソフトを使用中に、を押す

- FORWARD(送り)ボタンを押すと、Page Downします。
- BACK(戻し)ボタンを押すと、Page Upします。



# 基本操作



# 投映のしかた

## 電源を入れてから切るまで

- 操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。

### お知らせ

- 本機は工場出荷時の画面表示言語を「英語」に設定しています。画面表示言語を「日本語」にしたいときは30ページの手順で設定し直してください。

## 1 アースコードを取り付ける

## 2 電源プラグをコンセントに接続する

- プロジェクターの電源表示ランプが赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。

## 3 本体またはリモコンの を押す

- 電源表示が緑色で点灯します。ランプ交換お知らせ表示が点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。

### メモ

- ランプ交換お知らせ表示はランプの状態をお知らせします。

緑色点灯: ランプ点灯中  
 緑色点滅: ランプ起動中  
 赤色点灯: ランプ交換

- 電源を切った直後に、再び電源を入れると、ランプ交換お知らせ表示が点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。

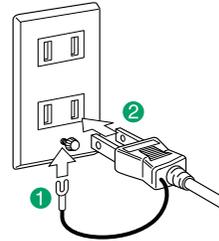
システムロックが設定されているとき  
キーコード入力画面が表示されます。設定した  
キーコードを入力してください。

### メモ

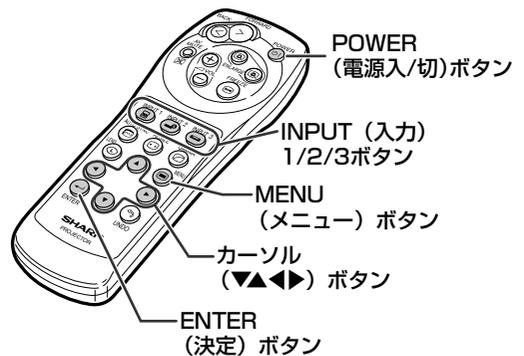
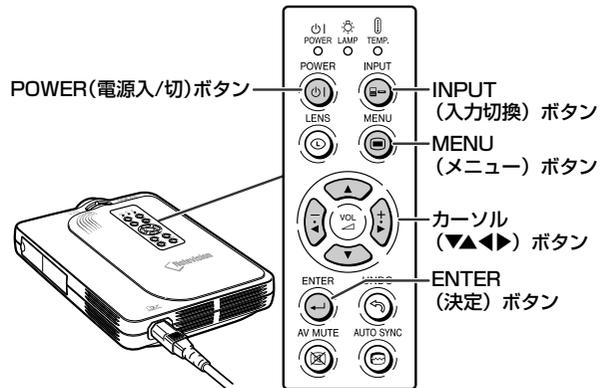
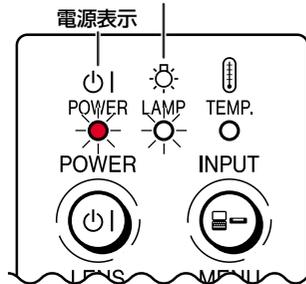
- キーコードは、本体またはリモコンで設定したそれぞれのボタンを押してください。

### お知らせ

- システムロックが設定されている場合は、キーコードを入力しないと、プロジェクターは入力モードにならず、信号を接続しても入力画面が表示されません。



▼本体ランプ ランプ交換お知らせ表示



キーコード入力画面表示



## 4 リモコンの **INPUT** または **↶**、**↷** を押し、入力モードを選ぶ

- 本体の **INPUT** を押し、

→入力1→入力2→入力3→の順番で切り換わります。

### メモ

- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで認識できない信号を受けると、「判別不能」と画面表示されます。

### 入力モードについて

|                      |   |
|----------------------|---|
| INPUT 1<br>(RGB/色差)  | DVI-DIGITAL/ANALOG入力端子に接続したRGB信号、または色差信号を出す機器を投影したいとき |
| INPUT 2<br>(S-Video) | S-Video入力端子に接続した機器を投影したいとき                            |
| INPUT 3<br>(Video)   | ビデオ入力端子に接続した機器を投影したいとき                                |

### ▼表示画面(例)



## 5 リモコンの **+** または **-** を押し、スピーカーの音量を調整する

### メモ

- **+** を押しと音量が大きくなります。  
**-** を押しと音量が小さくなります。
- 本体の **+**、**-** で調整することもできます。
- 本体の **+**、**-** は、メニューやレンズ調整時、設定や調整を行う機能を選択しているときは、カーソルボタン **◀▶** として働きます。

音量



AV MUTE  
(AVミュート) ボタン



AV ミュート

## 6 **AV MUTE** を押し、一時的に映像と音を消す

### メモ

- もう一度 **AV MUTE** を押しと、映像と音量が元に戻ります。

# 投映のしかた(つづき)

7

POWER

 を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、 を押し

 メモ

POWER

- 間違っても  を1回押したときは、そのままお待ちください。しばらくすると確認画面が消え、操作に戻ることができます。

 お知らせ

- 投映中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。
- アンプ等と接続して使用している場合に電源を切るときは、接続している機器の電源を切ってからプロジェクターの電源を切ってください。



POWER  
(電源入/切)ボタン

 電源オフしますか?

決定: もう一度押し 中止: 少し待つ

## 画面表示言語を選ぶ

- 本機は表示画面の言語として英語、ドイツ語、スペイン語、オランダ語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、日本語に切り換えることができます。

1

 を押し

- メニュー画面が表示されます。

2

 または  を押し「Language」を選ぶ

3

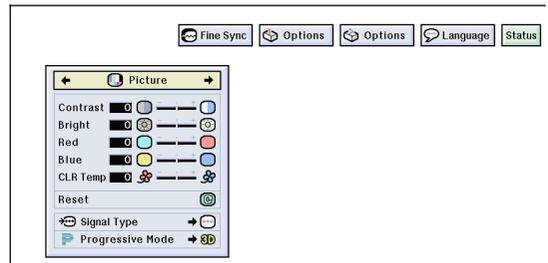
 または  で「日本語」を選び、 を押し

ENTER

4

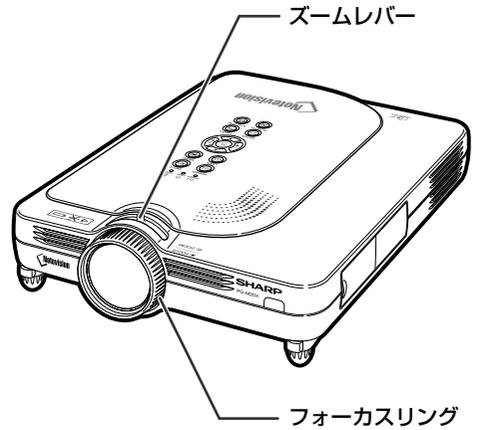
 を押し

- 表示が消え、日本語が表示されます。



## レンズ調整

フォーカス（ピント）調整やズーム操作は本体で行います。



- 1 フォーカス（ピント）は、フォーカスリングをまわして調整する



- 2 ズームは、ズームレバーを動かして操作する



# 画面の台形歪みを補正する(キーストーン補正)

## 画面の台形歪みを補正する

キーストーン(画面の台形歪み)補正が行えます。

### メモ

※キーストーン補正とは

- 映像をスクリーンに対し上下から角度を付けて投映すると映像が台形に歪みます。この台形を補正するのがキーストーン補正です。
- キーストーンで補正できるスクリーンに対する上下の角度は±約35度までです。(設置方法について、くわしくは8ページをご覧ください。)

## 1 LENS (レンズ) ボタンを押す

- 標準、スクイーズ(フル)、ワイド画面を表示しているとき、もう一度 LENS ボタンを押すとデジタルシフト機能が働きます。(33ページ)

## 2 方向キーを押し、調整する

- より忠実に補正したいときは、ENTER ボタンを押してテストパターンを表示させ、方向キーを押して調整します。

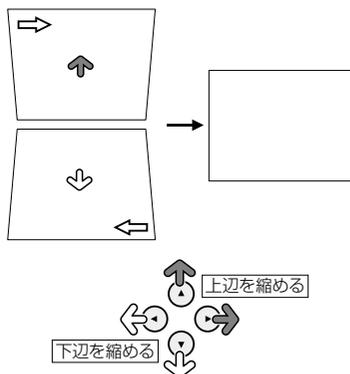
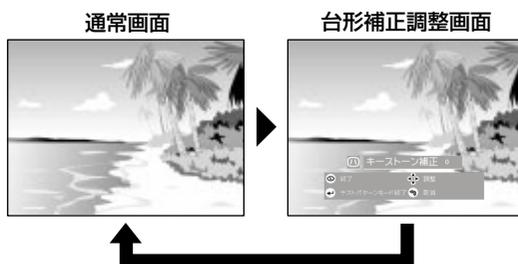
### メモ

- キーストーン補正調整を取り消すときは、UNDO ボタンを押します。

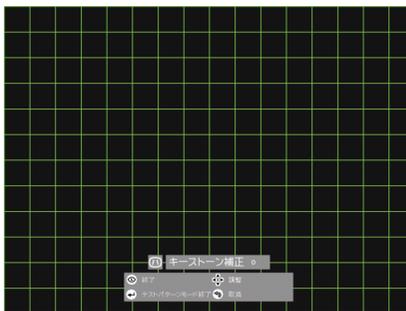
## 3 LENS (レンズ) ボタンを押す

### メモ

- 4:3ズーム画面で設定した内容は、そのまま16:9でも有効です。
- 調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見ることがあります。

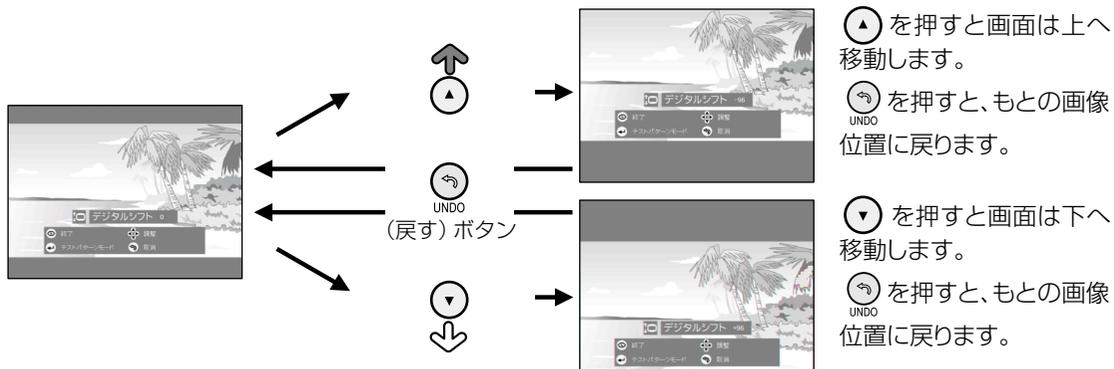


テストパターン表示時



## デジタルシフト

ハイビジョンやDVDの16:9映像を投映するときに、画像全体を上下させて見やすくすることができます。



※デジタルシフト機能は、特定の画像を標準、スクイーズ(フル)、ワイドモードにしたときに使用できます。くわしくは47ページをご覧ください。

## 便利な機能を使うには

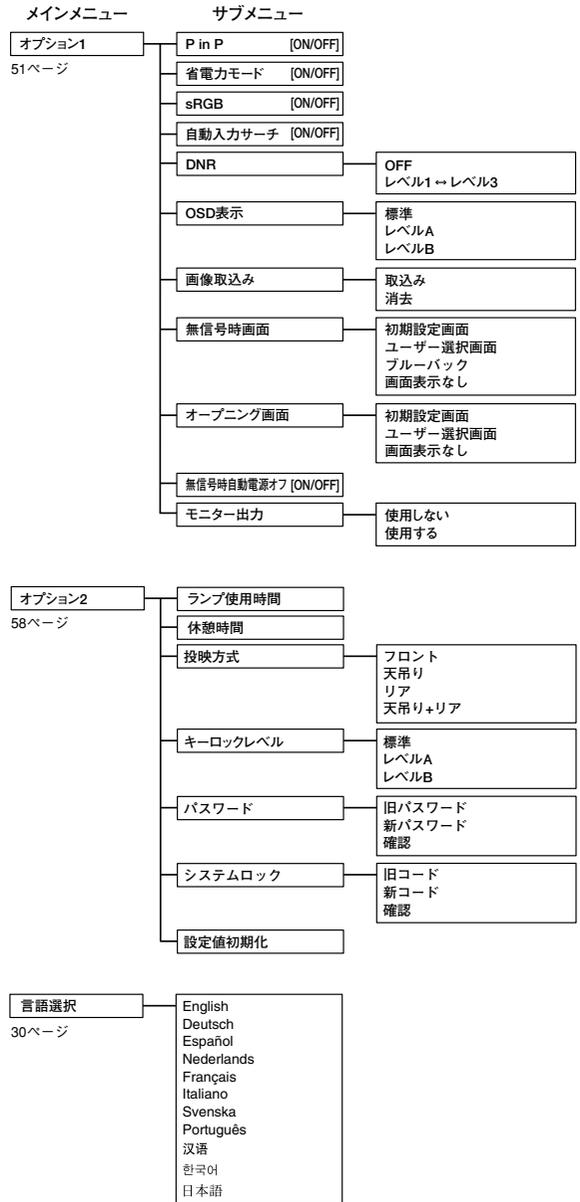
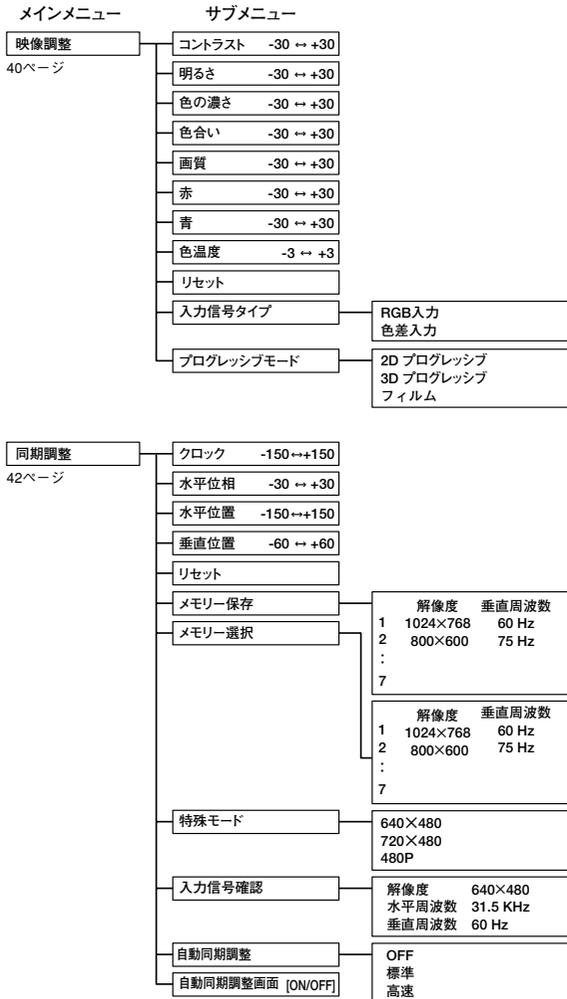
- 再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する . . . . . 55ページ
- 2つの画像を表示する (P in P) . . . . . 51ページ
- ドットのちらつきやノイズを軽減する (DNR) . . . . . 54ページ

• くわしくは各設定のページをご覧ください。

# メニュー表示内容一覧

プロジェクターで設定できる項目を示します。

## ■入力1モードのとき

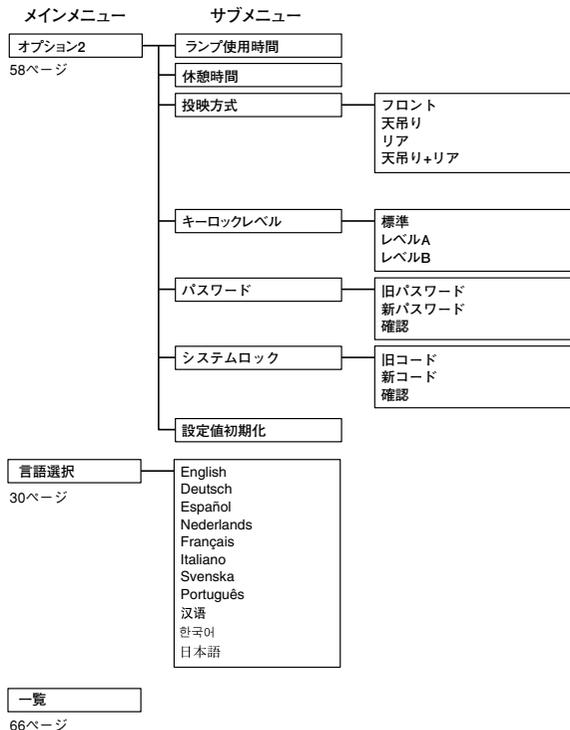
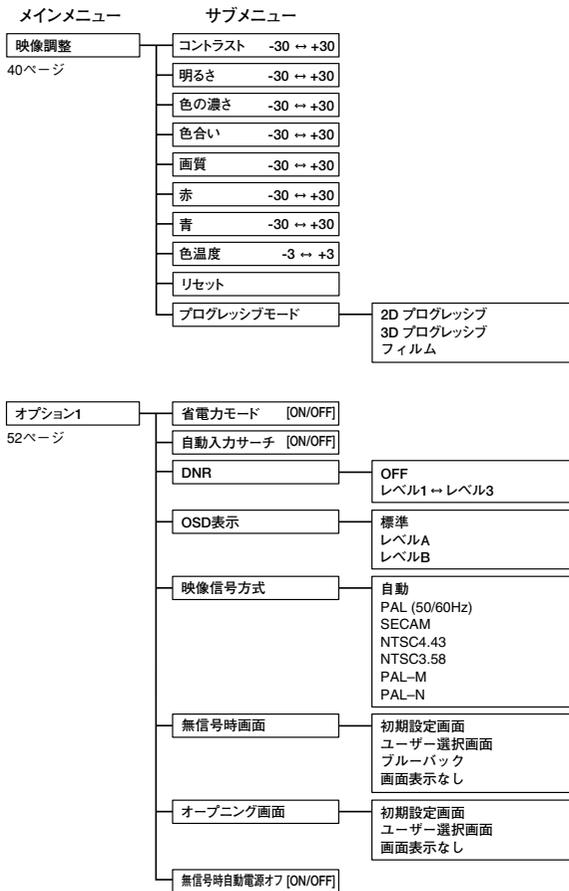


一覧  
66ページ



- チャートに示された解像度、垂直周波数、水平周波数の値は例として表示しています。
- INPUT (入力) 1にDVIデジタル信号を入力したとき、「映像調整」では「色温度」、「赤」、「青」だけが調整でき、「同期調整」では、「入力信号確認」、「自動同期調整」、「自動同期調整画面」だけが実行できます。
- 入力1モードの「映像調整」で「色の濃さ」「色合い」「画質」は入力信号タイプが「色差入力」に設定されているとき表示される調整項目です。
- オプション2の「設定値初期化」を選んだとき、初期化されない項目もあります。詳しくは65ページをご覧ください。

## ■入力2/入力3モードのとき

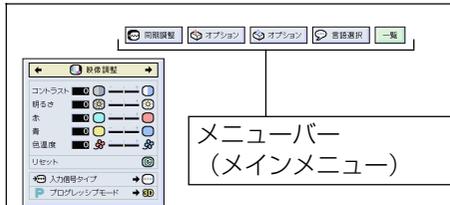


# メニューの使いかた

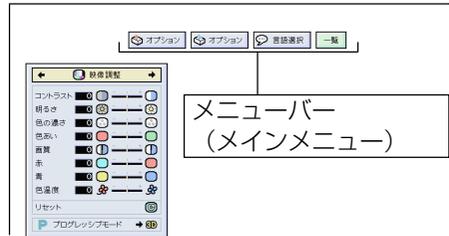
このプロジェクターには、画像の調整や、いろいろな設置に対応するため2つのメニューを用意しています。

メニューの操作は、次の手順に従ってプロジェクター本体、またはリモコンで行います。

## 入力1RGBモードのメニュー画面例



## 入力2/3モードのメニュー画面例

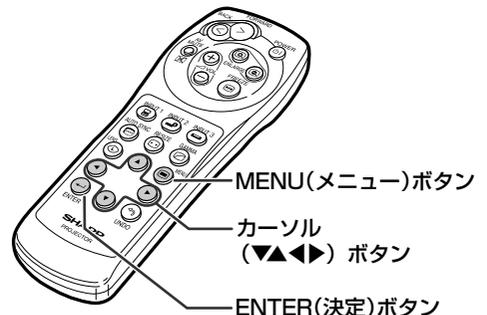
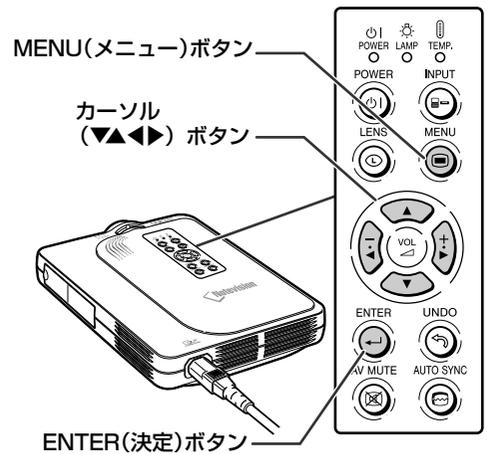


## メニューの基本操作 (調整)

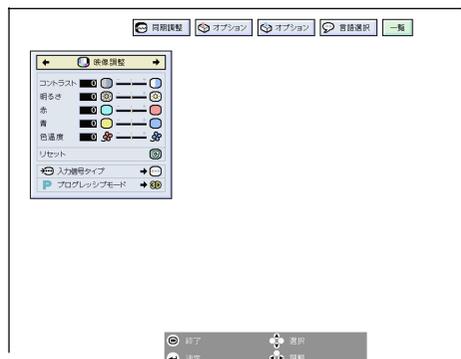
### 1 MENU を押す

#### メモ

- 選んでいる入力モードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。
- 右図は入力1モードの場合の表示画面です。



### ▼表示画面



## 2 ◀または▶を押し、調整するメニューを選ぶ

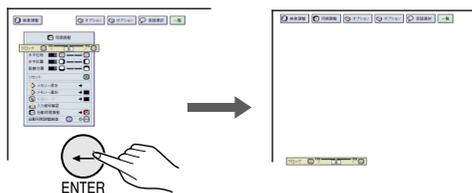
### メモ

- メニューの詳細については34、35ページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。

## 3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

### メモ

- 調整項目をひとつだけ表示するには、調整する項目を選んだ後でENTERを押してください。メニューバーと、選んだ調整項目だけが表示されます。この表示の状態で▲または▼を押すと次の項目(クロックの次は水平位相)が表示されます。



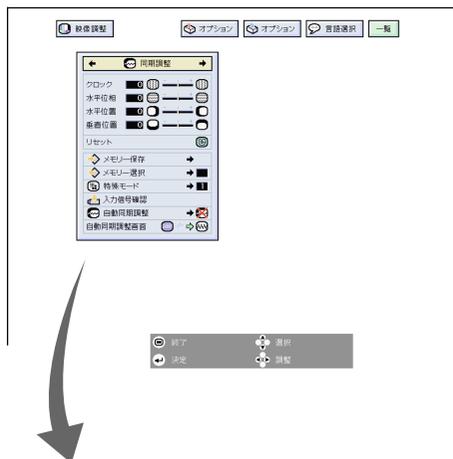
- UNDOを押すと、前の画面に戻ります。

## 4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

- 調整した内容が記憶されます。

## 5 MENUを押す

- 表示が消えます。



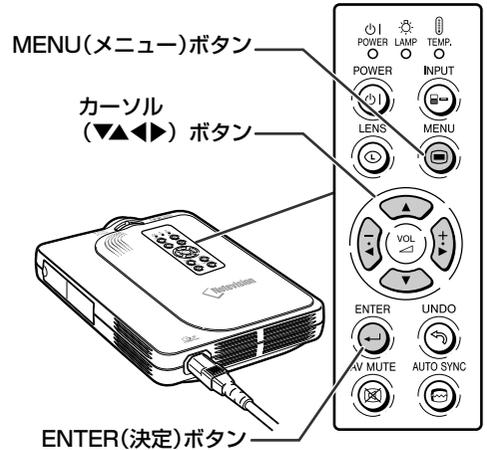
# メニューの使いかた(つづき)

## メニューの基本操作(設定)

### 1 MENU を押す

#### メモ

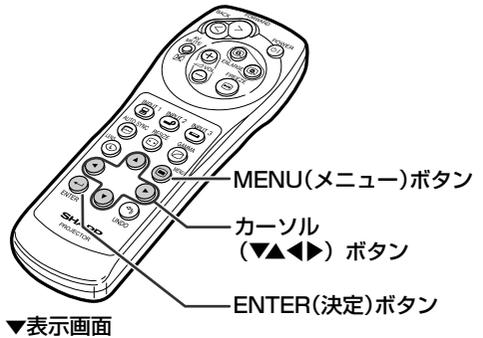
- それぞれのモードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。
- 右図は入力1モードの場合の表示画面です。



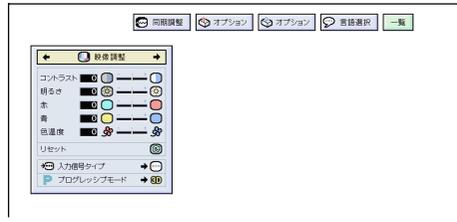
### 2 ◀ または ▶ を押し、調整するメニューを選ぶ

#### メモ

- メニューの詳細については34, 35ページページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。



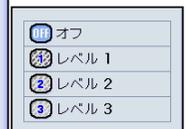
▼表示画面



### 3 ▲ または ▼ を押し、設定する項目を選ぶ

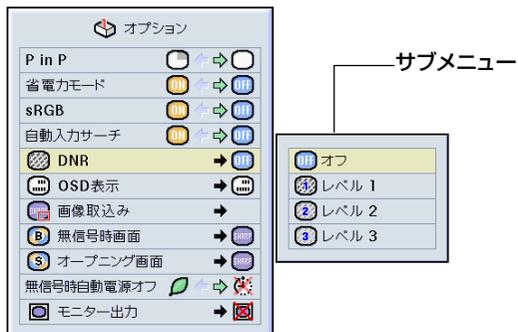
#### メモ

- ◀ を押すと、前の画面に戻ります。
- メニューによっては、▶ でアイコンを選んで設定します。

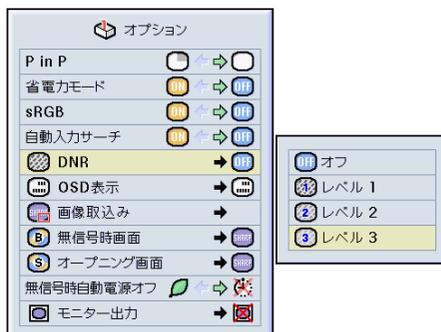


## 4 ▶を押す

- カーソルがサブメニューに移ります。



## 5 ▲または▼を押し、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ



## 6 ENTERを押す

- 選んだ項目が設定されます。

### メモ

- メニューの項目によっては、設定事項の確認画面が表示されます。

項目を設定するときは◀または▶で「はい」または「OK」を選び、ENTERを押します。

## 7 MENUを押す

- 表示が消えます。

# 映像を調整する

映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。

| 調整項目   | 状態                             | ◀ ボタン       | ▶ ボタン       |
|--------|--------------------------------|-------------|-------------|
| コントラスト | コントラストが強いとき、または弱いとき            | 弱くする        | 強くする        |
| 明るさ    | 画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき           | 暗くなる        | 明るくなる       |
| 色の濃さ   | 色が濃いとき、またはうすいとき                | うすい色になる     | 濃い色になる      |
| 色あい    | 色あいを調整したいとき                    | 紫がかかる       | 緑がかかる       |
| 画質     | 画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき | やわらかくする     | くっきりする      |
| 赤      | 赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき          | 赤みが弱くなる     | 赤みが強くなる     |
| 青      | 青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき          | 青みが弱くなる     | 青みが強くなる     |
| 色温度    | 冷たい感じの色にしたいとき、または温かい感じの色にしたいとき | 温かい、赤っぽさを強調 | 冷たい、青っぽさを強調 |



## 見やすい映像に調整する

映像調整メニューを選び調整する

→調整のしかた36ページ

### メモ

- INPUT (入力) 1 を選んでいるとき、「入力信号タイプ」が「RGB入力」のときは「色の濃さ」「色あい」「画質」は、表示されません。
- 映像調整の内容はそれぞれの入力モードで別々に記憶されます。
- INPUT (入力) 1 の入力信号タイプがコンポーネント (色差) 入力に設定されている場合の「画質」調整は、525I、525P、750P、1125I の信号が入力されているとき調整が行えます。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び  を押します。



## 信号の種類を設定する

INPUT (入力) 1端子に接続した機器の入力信号に合わせてRGBかコンポーネント(色差)を選択します。

映像調整メニューの「入力信号タイプ」を選び、設定する

→設定のしかた38ページ

### メモ

●  RGB入力

RGB信号を入力したときに設定します。

●  色差入力

コンポーネント(色差)信号を入力したときに設定します。



## プログレッシブモードを設定する

映像に合わせて、最適なプログレッシブモードを使うことでビデオ表示がよりスムーズになります。

映像調整メニューの「プログレッシブモード」を選び設定する

→設定のしかた38ページ

### メモ

●  2D プログレッシブ

スポーツやアクション映画など、動きの速い映像を表示するのに適しています。

●  3D プログレッシブ

ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を表示するのに適しています。

●  フィルム

フィルムイメージ※映像ソフトを再生するのに適しています。

※ 24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどを再生するとき、60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

● 映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。

● プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。



# コンピュータの画面を調整する

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

| 調整項目 | 調整内容                 |
|------|----------------------|
| クロック | 垂直ノイズを調整する           |
| 水平位相 | 水平ノイズを調整する(トラッキング調整) |
| 水平位置 | スクリーン上の映像を左右に移動させる   |
| 垂直位置 | スクリーン上の映像を上下に移動させる   |



## 自動同期調整がOFFのとき

自動同期調整がOFFのときにタイルパターン・縦縞模様などを投映すると、チラツキや縦縞が出るなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

同期調整メニューの「クロック」、「水平位相」、「水平位置」、「垂直位置」を選び調整する

→調整のしかた36ページ



メモ

- コンピュータの画面は  を使うと、簡単に調整できます。くわしくは44ページをご覧ください。



## 画面調整の内容を登録する

いろいろなコンピュータと接続して使用できるように、調整内容を7種類まで登録できます。

同期調整メニューの「メモリー保存」を選び登録する

→登録のしかた38ページ



|   | 解像度        | 垂直周波数 |
|---|------------|-------|
| 1 | 1024 × 768 | 60 Hz |
| 2 |            |       |
| 3 |            |       |
| 4 |            |       |
| 5 |            |       |
| 6 |            |       |
| 7 |            |       |

## 登録した調整内容を読み出す

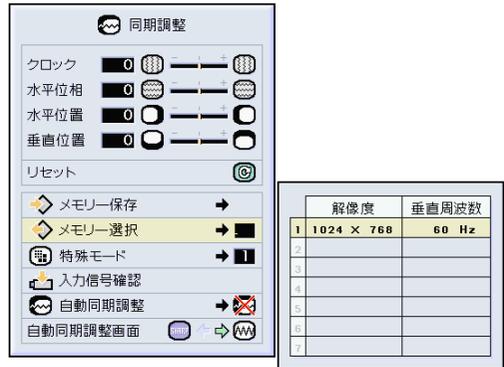
プロジェクターに登録した画面調整の内容を読み出して設定することができます。

同期調整メニューの「メモリー選択」を選ぶ

→ 選びかた38ページ

### メモ

- メモリー番号を設定しなければ、解像度と周波数は表示されません。
- 「メモリー選択」項目ですでに登録済みの調整内容を読み出すと、プロジェクターに登録済みの調整内容に設定できます。



## 特殊モード設定

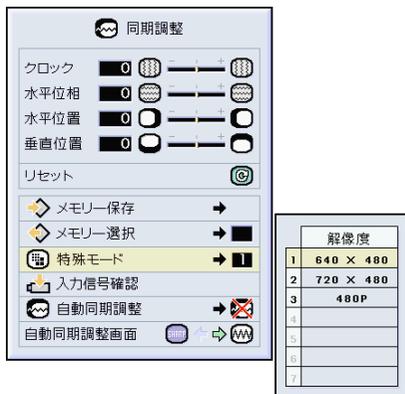
通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

同期調整メニューの「特殊モード」を選び解像度を設定する

→ 設定のしかた38ページ

### メモ

- コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン（水平方向の縞模様）を表示させないください。（チラツキがおこり、画面が見にくくなります。）
- 525P（プログレッシブ）出力のDVDプレーヤーや、デジタルビデオを接続したときは、480Pを選択してください。
- 現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、次の「入力信号情報を表示する」をご覧ください。



## 入力信号情報を表示する

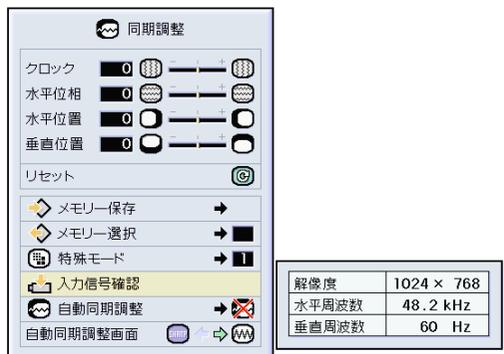
この機能を使って、現在選択されている入力信号の情報を確認できます。

同期調整メニューの「入力信号確認」を選び確認する

→ 確認のしかた36ページ

### メモ

- 本機はDVDプレーヤーやデジタルビデオなど、AV機器から入力される信号に対し、有効走査線数を表示します。表示は右のようになります。



## 入力信号と本機の表示

入力信号に対し、本機は有効走査線数を表示します。

| 入力信号  | 本機の表示 |
|-------|-------|
| 525I  | 480I  |
| 525P  | 480P  |
| 750P  | 720P  |
| 1125I | 1080I |

# コンピュータの画面を調整する(つづき)

## 自動同期調整

コンピュータの画面を自動調整します。

同期調整メニューの「自動同期調整」を選び設定する

→設定のしかた38ページ



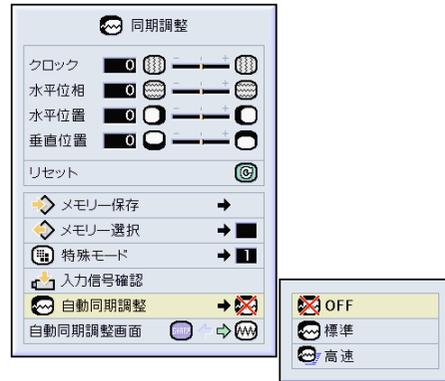
メモ

"標準"または"高速"に設定すると

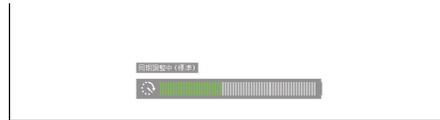
- プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。

同期調整を手動で行うとき

- 自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で同期調整をしてください。(42ページをご覧ください。)
- プロジェクターに接続されたコンピュータの画面によっては、同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 自動同期調整を「高速」または「OFF」に設定しているとき  を押し、高速モードで自動調整を行います。1分以内に再度押し、標準モードで自動調整を行います。



同期調整中表示



AUTO SYNC  
(自動同期調整)ボタン



## 自動同期調整時の画面表示機能

自動同期調整中に表示される画面を設定します。

同期調整メニューの「自動同期調整画面」を選び設定する

→設定のしかた36ページ



メモ

-  ...無信号時画面で設定されている画面が投映されます。
-  ...調整中のコンピュータ画面が表示されます。



# 便利な機能を使う



# 画像表示モードを選ぶ

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。入力信号の種類によって、「標準」・「フル」・「ドットバイドット」・「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ワイド」を選んでください。

## 入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える

### 1 RESIZE を押す

- 押すたびに、画像表示モードは47ページのように変わります。

### メモ

- 「ドットバイドット」モードでは映像を元の解像度で表示するため拡大されません。
- 初期の状態に戻るには、「画面サイズ」が画面に表示されているとき、 を押してください。



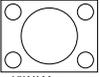
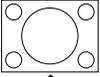
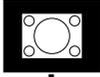
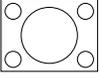
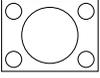
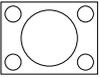
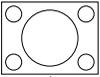
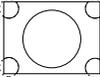
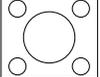
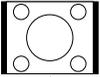
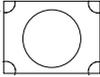
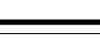
画像表示モード表示



## コンピュータ

|     |                    | 標準         | フル         | ドットバイドット    |
|-----|--------------------|------------|------------|-------------|
| 4:3 | SVGA (800 × 600)   | 1024 × 768 | —          | 800 × 600   |
|     | XGA (1024 × 768)   | 1024 × 768 | —          | —           |
|     | SXGA (1280 × 960)  | 1024 × 768 | —          | 1280 × 960  |
|     | UXGA (1600 × 1200) | 1024 × 768 | —          | 1600 × 1200 |
| その他 | SXGA (1280 × 1024) | 960 × 768  | 1024 × 768 | 1280 × 1024 |

• XGA (1024×768) の信号を入力したときは、標準に固定されます。

| 入力信号             |  | 表示イメージ  |   |   |
|------------------|--|---|---|---|
|                  |  | 標準<br>縦横比を維持したまま、4:3<br>スクリーンの内側いっぱいに<br>画像全体を投射します。                              | フル<br>縦横比を無視して、4:3<br>スクリーンいっぱいに<br>画像全体を投射します。                                   | ドットバイドット<br>画像を元の解像度で<br>投射します。   |
| XGAより解像度が低い      | <br>縦横比 4:3 |  | —   |  |
|                  |  |  | —   |  |
| 4:3 (XGA)        |             |  | —   | —   |
| XGAより解像度が高い      |             |  | —   |  |
|                  |  |  |  |  |
| SXGA (1280×1024) |             |  |  |  |
|                  |  |  |  |  |

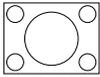
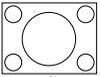
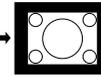
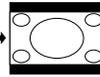
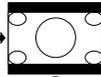
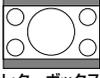
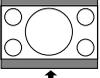
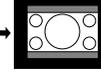
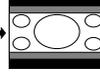
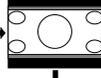
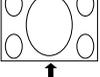
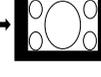
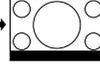
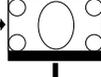
■ マスクされ映像がない部分  
■ 元の信号自体に映像が無い部分

## ビデオ

|      |                                | ズーム        | 標準         | スクイーズ(フル)   | ワイド         |
|------|--------------------------------|------------|------------|-------------|-------------|
| 4:3  | 525I, 525P, NTSC<br>PAL, SECAM | 1024 × 768 | 768 × 576* | 1024 × 576* | 1024 × 576* |
| 16:9 | 750P, 1125I                    | —          | —          | 1024 × 576* | —           |

• 750Pや1125Iの映像信号を入力したときは、スクイーズ (フル) に固定されます。

\*これらの画像でデジタルシフト機能を使用できます。

| 入力信号                    |   | 表示イメージ  |   |  |   |
|-------------------------|---|---|---|--|---|
|                         |   | ズーム<br>画像全体を投射します。  | 標準<br>4:3の画像を16:9スク<br>リーンの内側いっぱいに<br>投射します (画面の高端<br>がマスクされます)。                    | スクイーズ (フル)<br>スクイーズ記録された16:9<br>の画像を16:9スクリーンに<br>均一に投射します (画面の<br>上下が黒くなります)。       | ワイド<br>4:3映像の中央部分のアス<br>ペクト比を保ったまま、周辺部<br>分のみ拡大し、16:9スクリ<br>ーンいっぱいに投射します。             |
| 525I/NTSC<br>/PAL/SECAM | <br>縦横比 4:3  |  |  |  |  |
|                         | <br>レターボックス  |  |  |  |  |
|                         | <br>スクイーズ    |  |  |  |  |
| 750P/1125I              | <br>縦横比 16:9 | —   | —   |  | —   |

■ マスクされ映像がない部分  
■ 元の信号自体に映像が無い部分

# 静止画機能

静止画機能を使うと、投映中の映像を静止画として記憶することができます。  
この機能を使えば、静止画を表示中により詳しく説明を加えたり、次の画面を準備するまで静止画を表示することができます。

## 映像を静止状態にして記憶する

- 1**  **を押す**
  - 投映中の映像が静止画になります。



▼表示画面

静止画 オン

静止画 オフ

- 2**  **を再度押すと、接続した機器の現在の映像に戻る**

# 映像をデジタル拡大する

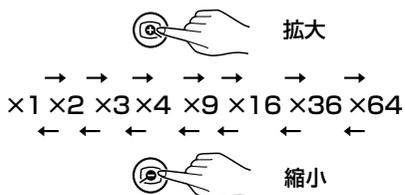
この機能を使うと、投映された映像の一部を拡大することができます。映像の一部の詳細を表示したいときに便利です。

## 映像の一部を拡大表示する

### 1 ④を押す

- ×2の倍率に拡大されます。
- ④ (拡大) または ⑤ (縮小) で、投映画像の拡大、縮小が行えます。

メモ



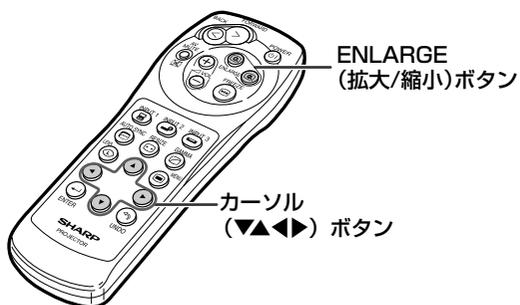
- ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ を使って拡大部分の位置を移動することができます。
- SXGA+, UXGAの画面では、「×2」「×3」は選択されません。

### 2 UNDOで解除、倍率は×1に戻る

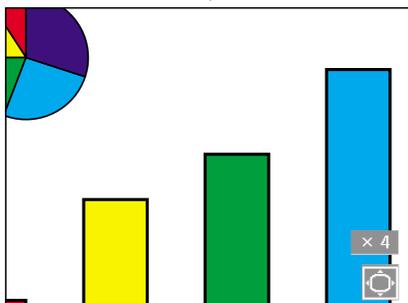
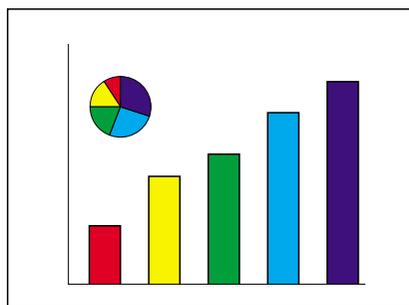
メモ

次の場合、拡大された映像が元の大きさ(×1)に戻ります。

- 入力切換を行ったとき
- ⑩ が押されたとき
- 入力信号が変更されたとき
- 入力信号の解像度やリフレッシュレート(垂直周波数)が変わったとき



▼表示画面



# ガンマ補正

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合は、ガンマ補正機能を使って見やすくできます。

映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、暗いシーンを明るくするなど、より見やすい映像が楽しめます。

| 選択項目      | 補正内容                 |
|-----------|----------------------|
| 標準        | 標準の設定です。             |
| プレゼンテーション | 映像をより明るくしたいときに設定します。 |
| シネマ       | 映画などを見るときに設定します。     |
| ゲーム       | ゲームなどをするとときに設定します。   |

## ガンマ補正を設定する

### 1 を押す

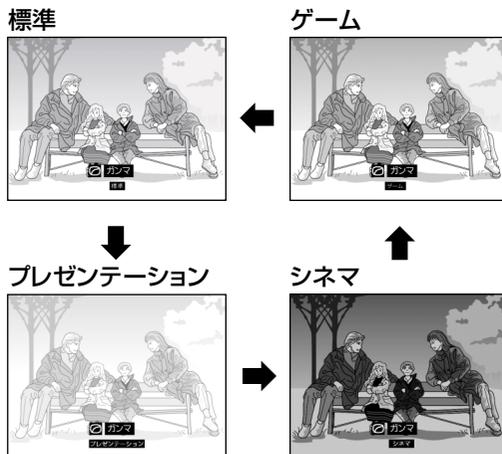
- 押すたびに、ガンマ補正の種類を切り換えることができます。



GAMMA  
(ガンマ補正)ボタン  
UNDO  
(戻す)ボタン

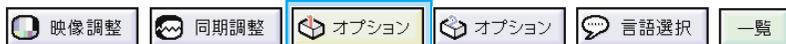
### 2 「ガンマ」が画面に表示されているときに、 を押すと、下表のガンマモードに戻ります。

| 入力モード | 入力信号          | ガンマモード    |
|-------|---------------|-----------|
| 入力1   | RGB信号         | プレゼンテーション |
|       | コンポーネント(色差)信号 | シネマ       |
| 入力2   | S映像信号         | 標準        |
| 入力3   | ビデオ信号         | 標準        |



# 2つの画像を表示する (P in P)

ピクチャーインピクチャーは同一の画面の中に2つの画像を表示する機能です。INPUT (入力) 1から入力された画像 (RGB信号) の中に、INPUT (入力) 2またはINPUT (入力) 3から入力された画像 (ビデオ信号) を子画面表示します。(RGBメニュー以外では設定できません。)



## 子画面を表示する

オプションメニュー1の「P in P」を選び表示する  
→表示のしかた36ページ

- 1** ◀を押し、を選ぶ  
・ を選ぶと「P in P」を解除します。

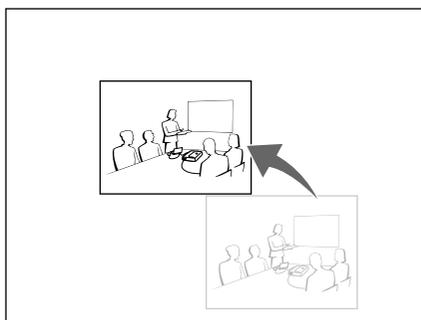
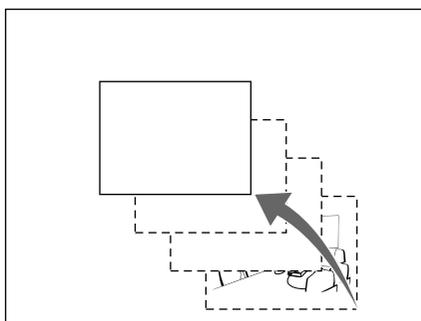
- 2** リモコンの 、 または本体の  を押し、子画面の映像を切り換える

- 3** ◀ ▶ ◂ ◃ を押し、子画面表示枠を移動させて子画面の表示位置を決める  
・ 移動を止めるときや、子画面表示枠を消したいときは、 を押します。

- 4**  を押し、子画面を移動する  
・ 子画面表示枠の位置に子画面が移動します。

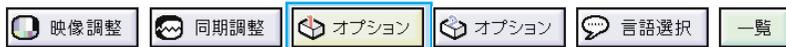
### メモ

- 子画面用の信号は、NTSC/PAL/SECAMのビデオ信号やS映像信号のみです。
- ピクチャーインピクチャー機能が働いている間、静止画機能は子画面に対してのみ使用できます。INPUT 1に入力されている信号が次のような場合、ピクチャーインピクチャー機能は動きません。
  - SXGAを超える解像度の場合
  - 入力信号が525I、525P、750P、1125Iの場合
  - 入力信号がRGB信号で、インターレースのモードになっている場合
  - 画像表示モードがドットバイドットの場合
  - INPUT (入力) 1の信号が無信号になったときや、解像度、リフレッシュレート (垂直周波数) が変更された場合
- 子画面を切り換えるときは、リモコンの 、、または本体の  を押します。



# 省電力機能を設定する

省電力モードや無信号時自動電源オフ機能を使って、プロジェクターの消費電力を減らすための設定ができます。



## 省電力モードにする

オプションメニュー1の「省電力モード」を選び設定する

→設定のしかた36ページ

**On** (入)

- 「切」に対して、消費電力が約20%低減します。  
(投影画面の輝度も約20%低減します。)

**Off** (切)

- 通常は「切」にして使用します。  
※工場出荷時は**Off** (切) に設定されています。

### メモ

- 省電力モード「**On** (入)」に設定すると、投影画面が暗くなります。



## 無信号時自動電源オフ機能

「**On** (入)」に設定したときは15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に電源を切ります。

「**Off** (切)」に設定すると無信号時自動電源オフ機能が「切」になります。

オプションメニュー1の「無信号時自動電源オフ」を選び設定する

→設定のしかた36ページ

### メモ

無信号電源オフ機能が「(入)」に設定されているとき、電源が切れる5分前になると、1分ごとに「●分後に電源オフ」の表示がでます。



# sRGBカラーマネジメント機能を動作させる

プロジェクターの出力信号をsRGB規格(6500K)に合うように補正することができます。



## sRGBカラーマネジメント機能を使う

オプションメニュー1の「sRGB」を選び設定する

→設定のしかた36ページ

### メモ

- sRGBについてのより詳しい説明については“<http://www.srgb.com/>”をご覧ください。



### お知らせ

sRGBがON(入)のとき

- sRGBを「入」に設定すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。
- ガンマ補正は設定できません。
- 映像調整の「赤」「青」「色温度」は調整できません。

# 自動入力サーチを設定する

プロジェクターの電源を入れたときや本体のINPUT(入力切換)ボタンを押したときに、信号が入力されている入力モードを自動的に探し、その入力モードへ切り換えることができます。

## 自動入力サーチを使う

オプションメニュー1の「自動入力サーチ」を選び設定する

→設定のしかた36ページ

### メモ

- ON(入)  
電源を入れたときや、本体のINPUTボタンを押して自動的に信号のある入力モードにサーチさせたいときに設定します。
- OFF(切)  
本体のINPUTボタンを押して、順番に入力を切り換えたい(サーチさせたくない)ときに設定します。
- 入力モードをサーチしているとき、サーチを止めたいときは、本体またはリモコンのINPUT(入力切換)ボタンを押してください。



# ドットのちらつきやノイズを軽減する

デジタルノイズリダクション (DNR) を使うことで、微細なドットのちらつきやクロスカラーノイズを軽減できます。



## ノイズを軽減する (DNR)

オプションメニュー1の「DNR」を選び設定する

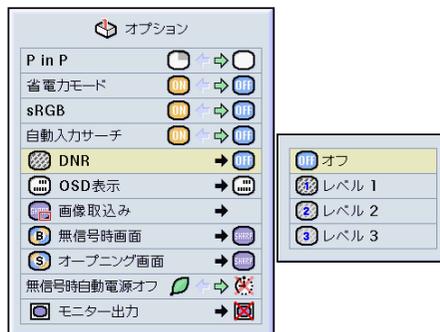
→設定のしかた38ページ

### メモ

- 映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定してください。
- 次のような場合は「切」に設定します。
- 画像がぼやけて見えるとき
- 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
- 電波の弱いテレビ放送を投映しているとき

### お知らせ

- INPUT (入力) 2またはINPUT (入力) 3に信号が入力されているときに設定が行えます。
- INPUT (入力) 1を選んでいるときは、入力された信号が525I、525PのときにDNRの設定が行えません。



## 画面表示を設定する

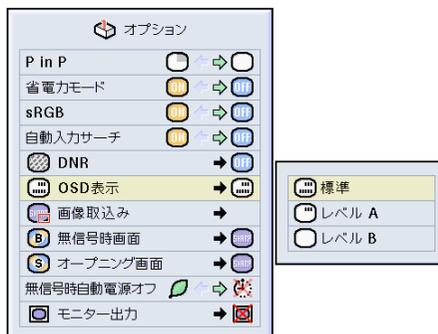
この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。メニューで「OSD表示」を" "または" "に設定すると、INPUT (入力切換) ボタンを押しても、「入力1」などの画面表示が表れません。

| 選 択 項 目  | 内 容   |
|--|---|
|  標準   | 画面表示のすべてが表示されます。  |
|  レベルA | 入力、静止画、拡大、自動同期、音量、AVミュートは表示されません。                             |
|  レベルB | メニュー、キーストーン補正、デジタルシフトおよび警告用のメッセージ (電源オフ、温度、ランプなど) 以外は表示されません。 |

## 画面表示を消す

オプションメニュー1の「OSD表示」を選び設定する

→設定のしかた38ページ



# 再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。



## 映像信号方式を設定する

オプションメニュー1の「映像信号方式」を選び設定する

→設定のしかた38ページ

### メモ

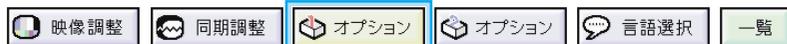
- 映像信号方式は、INPUT (入力) 2、3モード以外では設定できません。
- 「自動」では、PAL-NおよびPAL-Mを入力してもPAL表示になります。



|          |                            |
|----------|----------------------------|
| PAL      | PAL方式の映像機器を接続したとき          |
| SECAM    | SECAM方式の映像機器を接続したとき        |
| NTSC4.43 | PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき |
| NTSC3.58 | NTSC方式の映像機器を接続したとき         |

# 投映画像を取り込む (カスタムイメージキャプチャ)

- INPUT (入力) 1 (DVI端子) に接続した機器の投映画像 (RGB信号) を本機に取り込み、「ユーザー設定画面」として無信号時画面やオープニング画面として設定することができます。
- 取り込める画像は、アナログRGB信号とデジタルDVIのXGA信号で入力された画像です。



## 画像を取り込む

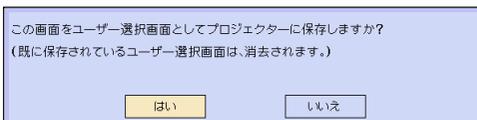
オプションメニュー1の「画像取込み」を選ぶ  
→オプションメニューの選びかた38ページ

### 1 ▲または▼で「取込み」を選び を押す

- 投映画面を取り込みます。取り込みに時間がかかることがあります。



### 2 ① または で「はい」を選ぶ ② を押す



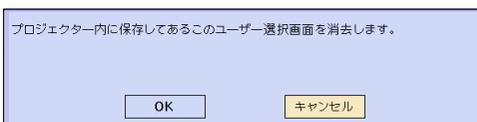
#### メモ

- 取り込んだ画像は256色に減色処理されます。
- この機能は1024×768 (XGA) ノンインターレース信号でのみ働きます。
- INPUT (入力) 2、3に接続した機器の画像は取り込めません。

## 取り込んだ画像を消去する

### 1 「 消去」を選び を押す

### 2 ① または で「OK」を選ぶ ② を押す



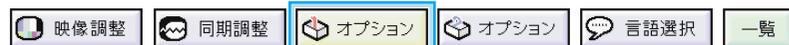
# 無信号時に表示する画面を設定する

プロジェクターに信号が送られていないとき、表示する画面を選ぶことができます。

| 選択項目                   | 無信号時画面               |
|------------------------|----------------------|
| 初期設定画面                 | SHARP初期設定画面          |
| ユーザー選択画面※ <sup>1</sup> | ユーザー設定画面(会社のロゴなど)    |
| ブルーバック                 | 青い画面                 |
| 画面表示無し                 | 入力信号画面※ <sup>2</sup> |

※<sup>1</sup> 「画像取込み」で取り込んだ画像を設定できます。

※<sup>2</sup> 入力信号がスノーノイズのときは、そのままスノーノイズの画面になります。

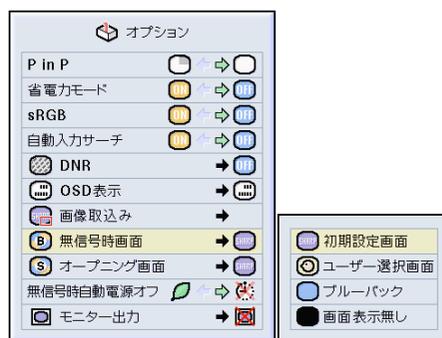


## 無信号時画面の設定

オプションメニュー1の「無信号時画面」を選び設定する  
→設定のしかた38ページ

### メモ

- ユーザー選択画面を選ぶと、「画像取込み」で取り込んだ画像を無信号時画面として表示できます。
- ユーザー選択画面は、工場出荷時はブラック画面(黒い画面)です。



## オープニング画面を選ぶ

この機能を使って、プロジェクターを起動させたときに表示される映像を指定することができます。

| 選択項目      | 無信号時画面            |
|-----------|-------------------|
| 初期設定画面    | SHARP初期設定画面       |
| ユーザー選択画面※ | ユーザー設定画面(会社のロゴなど) |
| 画面表示無し    | 入力信号画面            |

※ 「画像取込み」で取り込んだ画像を設定できます。

## オープニング画面を設定する

オプションメニュー1の「オープニング画面」を選び設定する  
→設定のしかた38ページ

### メモ

- ユーザー選択画面を選ぶと、「画像取込み」で取り込んだ画像を無信号時画面として表示できます。
- ユーザー選択画面は、工場出荷時はブラック画面(黒い画面)です。



# RGBモニター出力用アダプターを使う

RGBモニター出力用アダプター（別売品）と市販のRGBケーブルを使って、パソコンの映像をプロジェクターとモニターの両方に出力させたいときは、「使用する」に設定してください。



## RGBモニター出力用アダプターを使う

オプションメニュー1の「モニター出力」を選び設定する  
→設定のしかた36ページ

### メモ

- RGBモニター出力用アダプターを使用しないときは、「 使用しない」に設定してください。
- 正しく設定されていないと、投映画像が暗かったり、逆に明るすぎて白っぽくなる場合がありますが、故障ではありません。
- RGBモニター出力用アダプターを使用するときは「 使用する」に設定します。



# ランプの使用時間を表示する



## ランプ使用時間を確認するには

ランプの使用時間が表示されます。

オプションメニュー2を選び「ランプ使用時間」を確認する

→確認のしかた36ページ

### メモ

- ランプは、約1,900時間の使用で交換することをおすすめします。  
ランプの交換は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様相談センター（78ページ）にお問い合わせください。



# 休憩時間を表示する



## 休憩時間の表示と設定

オプションメニュー2の「休憩時間」を選び設定する  
→設定のしかた36ページ

1 「☕」が表示されているときに▲  
または▼を押す、休憩時間を設定する。

- 1分から60分の間で設定できます。(1分単位)



▼表示画面



## 休憩時間表示を解除したいとき

1 を押す  
UNDO

### メモ

- 休憩時間中は無信号自動電源オフ機能が一時無効になります。  
休憩終了後、無信号状態が15分続くと電源が切れます。
- 休憩時間は、オープニング画面の上に表示されません。休憩時間中に表示されている画面を変更したいときは、オープニング画面を設定し直してください。(57ページ)

# 映像の左右反転／上下反転のしかた

このプロジェクターは映像左右／上下反転機能を備えており、投映された映像を左右反転・上下反転することができ、いろいろな対応が可能です。

| 選択項目   | 画面           |
|--------|--------------|
| フロント   | 通常映像         |
| 天吊り    | 上下反転された映像    |
| リア     | 左右反転された映像    |
| 天吊り+リア | 左右／上下反転された映像 |



## 投映方式の設定

オプションメニュー2の「投映方式」を選び設定する  
→設定のしかた38ページ

### メモ

- パスワードが設定されている場合は、「投映方式」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。
- この機能はプロジェクターを逆映像設定したり、天井に取り付ける場合に使用します。設置方法については19ページをご覧ください。



# プロジェクターの操作ボタンをロックする

この機能は、プロジェクター本体上面のボタンをロックするのに使用します。  
キーロックレベルは、以下の3段階です。

| キーロックレベル | 内容                            |
|----------|-------------------------------|
| 標準       | すべてのボタンが機能します。                |
| レベル A    | 入力切替、音量、AVミュート以外のボタンがロックされます。 |
| レベル B    | すべてのボタンがロックされます。              |

## キーロックの設定

オプションメニュー2の「キーロックレベル」を選び設定する  
→設定のしかた38ページ

### メモ

- パスワードが設定されている場合は、「キーロックレベル」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。



## キーロックの解除のしかた

キーロックレベルを「標準」に設定すると、すべてのボタンが機能します。

オプションメニュー2の「キーロックレベル」を選び「**🔒 (標準)**」に設定する

→オプションメニューの選びかた38ページ

### メモ

- パスワードが設定されている場合は、「キーロックレベル」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。
- キーロック、パスワードがともに設定されている場合は、「キーロックレベル」を変更する前にパスワード入力が必要です。



## パスワードを設定する

パスワードを設定することにより、オプション2メニューの設定内容を変更できないようにすることができます。キーロックレベル(60ページ)と併せて使用するとより効果的です。



## パスワードを入力する

オプションメニュー2の「パスワード」を選び設定する

→オプションメニューの選びかた38ページ

**1** ▲または▼を押し、好きな番号が表示されたら▶を押し

**2** 同様に残りの3個を入力し↵を押し

**3** 確認欄にもう一度同じ数字を入力し、↵を押し

### メモ

- パスワードが設定されている場合は、「投映方式」、「キーロックレベル」、「システムロック」、「設定値初期化」を変更する前に、パスワード入力が必要です。



便利な機能を使う

つづく

# パスワードを設定する(つづき)

## パスワードを変更する

オプションメニュー2の「パスワード」を選び設定する  
→オプションメニューの選びかた38ページ

**1**    を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、 を押す

ENTER

**2** 新しいパスワードを    を使って設定し、 を押す

ENTER

**3** 確認欄にもう一度同じパスワードを4桁を入力し、 を押す

ENTER

### メモ

- パスワードを未設定状態にしたいときは、手順2と手順3でパスワードを入力しないで  を押してください。
- 設定を途中で止めるときは、 を押します。



|        |         |
|--------|---------|
| 旧パスワード | ■ - - - |
| 新パスワード | - - - - |
| 確認     | - - - - |

## パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除したあと、改めてパスワードを設定してください。

**1** POWER  →  → POWER  →  →

POWER  →  →  を順に押す

# システムロックを設定する

システムロックを設定すると、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。

設定したキーコードは必ずメモしてください。

## お知らせ

- キーコード入力画面で正しいキーコードを入力しないと、キーコード入力画面が表示されたままで、それ以降の操作ができません。キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができません。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。詳しくは修理相談センター（78ページ）にご相談ください。

## キーコードを入力する

- システムロックは、パスワード（61ページ）を設定しないと選択できません。
- システムロックを選ぶとパスワード入力欄が表示されます。設定したパスワードを入力してからキーコードを入力してください。

オプションメニュー2の「システムロック」を選び設定する  
→オプションメニューの選びかた38ページ

### 1 本体のボタンまたはリモコンのボタンを押し、キーコードを入力する

#### メモ

次のボタンはキーコードとして設定することができません。

- POWER（電源ON/OFF）ボタン
- ENTER（決定）ボタン
- UNDO（戻す）ボタン
- MENU（メニュー）ボタン
- FORWARD（送り）ボタン
- BACK（戻し）ボタン

### 2 同様に残りの3個を入力する

### 3 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

#### メモ

- キーロック機能は一時的に無効になります。

## お知らせ

- 設定したキーコードは、必ずメモしてください。お客様自身でのリセットができません。キーコードを忘れてしまった場合は、お客様相談センター（78ページ）にご相談ください。

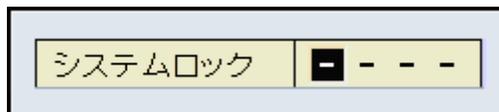


# システムロックを設定する(つづき)

システムロックを設定したとき電源を入れたときに、キーコード入力画面が表示されますので設定したキーコードを入力してください。

- リモコンのボタンをキーコードとして設定したときはリモコンのボタンを押してください。本体のボタンを設定したときは本体のボタンを押してください。

キーコード入力画面



## キーコードを変更する

- パスワードを設定しているときは、「システムロック」を選ぶとパスワード入力欄が表示されます。パスワードを入力してからキーコードを変更してください。

オプションメニュー2の「システムロック」を選び設定する  
→オプションメニューの選びかた38ページ



**1** リモコンまたは本体のボタンを押して、「旧コード」の欄に設定済みのキーコードを4桁入力する

**2** リモコンまたは本体のボタンを押して、新しいキーコードを入力する

**3** 確認欄にもう一度同じキーコードを4桁入力する

### メモ

- キーコードを未設定状態にしたいときは手順2と手順3でキーコードを入力しないで  を押してください。

# 設定内容を初期化する

この機能を使って、設定内容を初期化することができます。



## 設定値を工場出荷時に戻す

オプションメニュー2の「設定値初期化」を選ぶ

→「設定値初期化」のしかた38ページ

### メモ

- パスワードが設定されている場合は、「設定値初期化」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。

次の項目は初期化されません。

- 同期調整
  - 特殊モード
  - 入力信号確認
- オプション
  - ランプ使用時間
  - システムロック
- 言語設定
- 画像取り込みした画像



# 調整内容を一覧表示する

この機能を使うと、調整した設定内容すべてをスクリーンに一覧表示することができます。



## 調整した内容を一覧にして確認する

一覧メニューを選び、 (決定) を押す  
→詳しくは38ページ

| 映像調整       | 同期調整     | オプション      | オプション       | その他                  |
|------------|----------|------------|-------------|----------------------|
| コントラスト 0   | クロック 0   | P in P     | ランプ使用時間 49h | 日本語<br>言語選択          |
| 明るさ 0      | 水平位相 0   | 省電力モード     | 投影方式        |                      |
| 赤 0        | 水平位置 0   | sRGB       | キーロックレベル    |                      |
| 青 0        | 垂直位置 0   | 自動入力サーチ    | パスワード       | 標準<br>ガンマ            |
| 色温度 0      | メモリー選択   | DNR        | システムロック     | 標準<br>画面サイズ          |
| 入力信号タイプ    | 特殊モード 1  | OSD表示      |             |                      |
| プロGRESSモード | 自動同期調整   | 無信号時画面     |             |                      |
|            | 自動同期調整画面 | オープニング画面   |             | シリアルNo.<br>123456789 |
|            |          | 無信号時自動電源オフ | モニター出力      | ファームウェア<br>M20XXXXX  |

# 付録

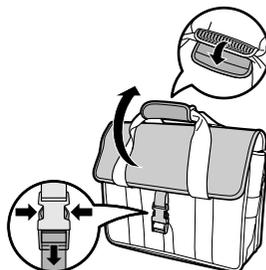


# プロジェクターを持ち運ぶ

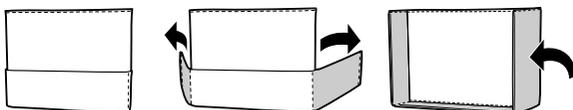
## キャリングバックの使いかた

プロジェクターを持ち運ぶときは、レンズキャップをして、付属のキャリングバックに入れてください。

### 1 カバーを開ける



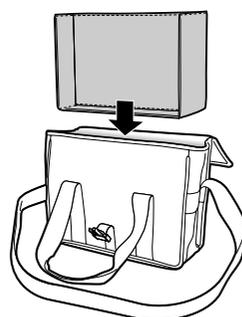
### 2 キャリングバックからインナーパッドを取り出し、矢印の方向に折る



### 3 インナーパッドをキャリングバックの中に入れる

#### お知らせ

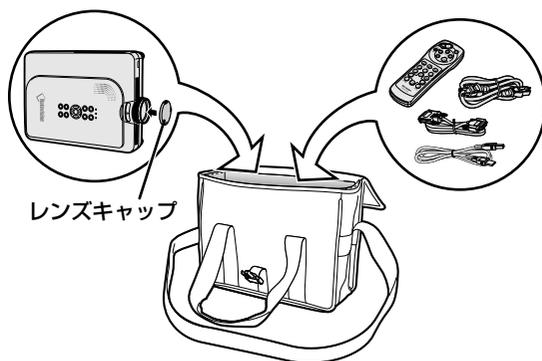
- レンズや本体を保護するため、インナーパッドは必ず装着してください。



### 4 本体と付属品をキャリングバックに収納する

#### お知らせ

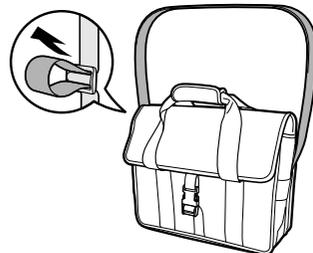
- レンズを保護するため、レンズキャップは必ず装着してください。
- 本体が十分冷えてから収納してください。



#### お知らせ

- このキャリングバックはプロジェクターの収納および持ち運び専用です。
- トラック便などでの運送用として使用しますと、外部の損傷や機器の故障の原因になります。運送用として使用するときには緩衝材を使用し、パッキングケース等に入れた状態で行ってください。
- 直射日光の当たる場所や、閉めきった自動車内、熱器具などの近くに放置しないでください。キャリングバックやプロジェクターの変形・変色の原因になります。

肩にかけやすいようにベルトを調整できます。



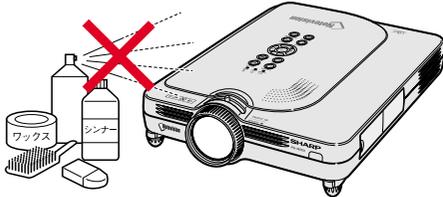
# お手入れのしかた

## キャビネットの手入れのしかた

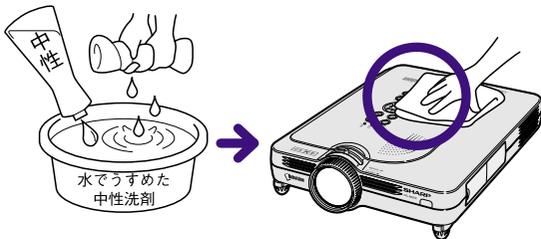
- キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。



- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

## レンズの手入れのしかた

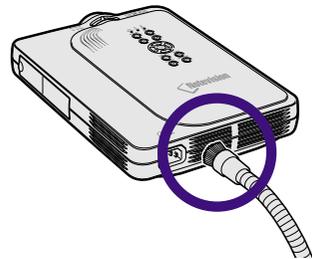
- レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



## 排気孔や吸気孔の手入れのしかた

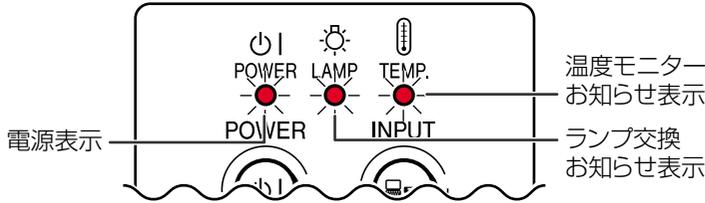
- 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。

### 本体背面



# お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度表示もしくはランプ交換お知らせ表示が赤色に点灯し電源が切れます。以下の処置を行ってください。



## ランプ交換お知らせ機能について

- ランプの総使用時間が1,900時間を超えると、画面に黄色で“ランプ”が表示され、2,000時間になると“ランプ”表示が赤になり、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が切れます。このとき、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯します。
- ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。



## 温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に“温度”が点滅します。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度表示が点滅、90秒のファン冷却後電源が切れます。“温度”の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。



| お知らせ表示       | お知らせ表示               |              | 現象             | 考えられる原因   | 処置のしかた   |
|--------------|----------------------|--------------|----------------|---|--|
|              | 正常                   | 異常           |                |   |  |
| 温度モニターお知らせ表示 | 消灯                   | 赤色点灯<br>電源・切 | 内部温度が高温になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 通風孔がふさがれている。</li> <li>● 冷却ファンの故障</li> <li>● 内部回路の故障</li> <li>● 内部通風孔の目づまり</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しい設置場所に設置してください。</li> <li>● 販売店またはもよりのシャープお客様相談窓口（78ページ）に修理を依頼してください。</li> </ul> |
|              | 緑色点灯<br>(緑色点滅は光源起動中) | 赤色点滅         |                |   |  |
| ランプ交換お知らせ表示  |                      | 赤色点灯<br>電源・切 | ランプ(光源)が点灯しない  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ランプ(光源)が切れた</li> <li>● ランプ(光源)点灯回路故障</li> </ul>                                      |  |

## 📖 お知らせ

- 温度モニターお知らせ表示が点灯し、電源が切れ、上記の処置を行った後、再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。（約5分以上）
- 一般の停電などで、電源が切れた直後に電源が入った場合、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯し電源が入らなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。
- プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、 を押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
- 電源を切った後、冷却ファンが動作している間（約90秒間）は、電源プラグを抜いたりしないでください。

# ランプについて

## ランプについて

- 光源として使われているランプは消耗品です。ランプの平均寿命は、のべ使用時間が約2,000時間です。1,900時間を超えたら、なるべく早めに新しいランプ(別売)と交換してください。1,900時間を超えなくても使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりした場合は、早めに新しいランプと交換してください。ランプの総使用時間は画面表示で確認できます。(58ページ参照)
- ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- ランプ(別売)は、シャープエンジニアリング(株)の製品です。
- ランプの取り替えは、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(78ページ)にお問い合わせください。



メモ

- プロジェクターの使用環境によっては、ランプの寿命は2,000時間以下になることがあります。



警告

- ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。



## ランプ使用上のご注意

- プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。
- 「ランプ交換お知らせ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。



警告

- 当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気口から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったりに口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。



## ランプを交換する



警告

- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
- ランプ交換ユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプ交換ユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。
- 新しいランプ交換ユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。BQC-PGM20X//1に対応したランプ交換ユニットをお近くの販売店でご購入ください。ランプ交換は、ここで説明している操作手順に従い注意して行ってください。なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。



# ランプについて(つづき)

## ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け

### お知らせ

- 取っ手をつかんで、ランプ交換ユニットを取り外してください。ランプ交換ユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ランプ交換ユニットカバー以外のネジは絶対に外さないでください。
- ランプ交換ユニットに付属されているランプ交換説明書も合わせてご覧ください。

### 1 本体の **POWER** (電源入/切) を押しプロジェクターの電源を切る

- 冷却ファンが止まるまで待ちます。

### 警告

- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

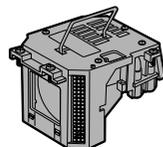
### 2 電源コードをプロジェクターから取り外す

- 電源コードをAC電源ソケットよりはずします。
- ランプ交換ユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。

### 3 ランプ交換ユニットカバーを取り外す

- プロジェクターを裏返しにして、ランプ交換ユニットカバーを固定しているユーザーサービスネジをゆるめます。その後、矢印の方向にカバーをスライドさせます。

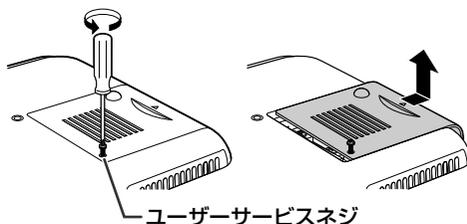
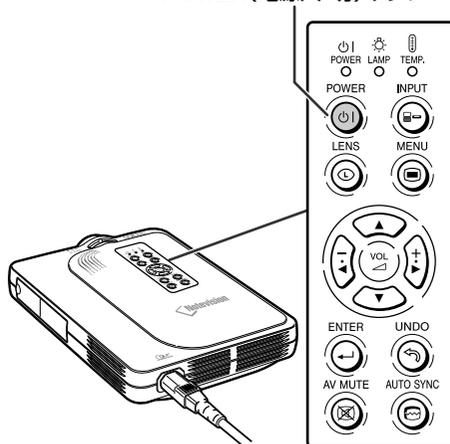
ランプ交換  
ユニット



部品コード  
BQC - PGM20X//1

流通コード  
006 626 0299

POWER(電源入/切)ボタン



## 4 ランプ交換ユニットを取り外す

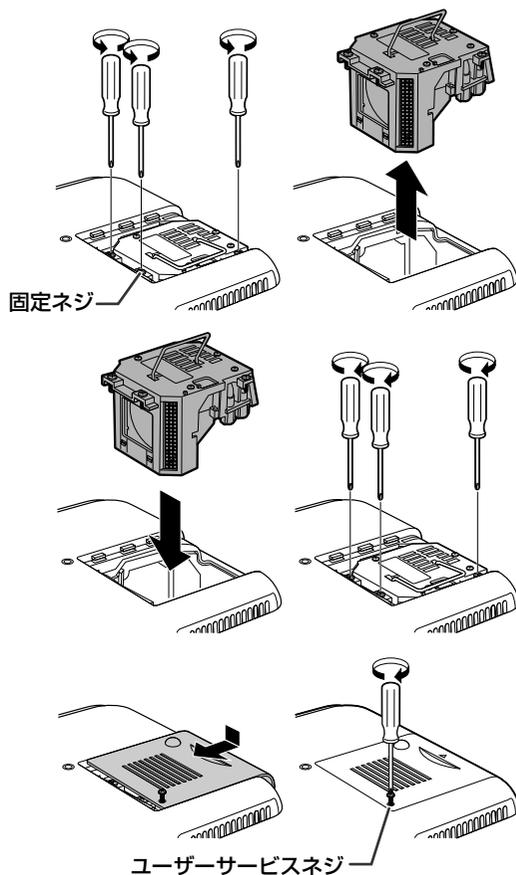
- 固定ネジをランプ交換ユニットから取り外します。取っ手をつかみ、ランプ交換ユニットを矢印の方向に引き出します。

## 5 新しいランプ交換ユニットを挿入する

- ランプ交換ユニットをしっかりとランプ交換ユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。

## 6 ランプ交換ユニットカバーを取り付ける

- 矢印の方向にランプ交換ユニットカバーをスライドさせます。その後、ユーザーサービスネジをしめます。



### お知らせ

- ランプ交換ユニットカバーが正しく取り付けられていないと、本体の電源コードを接続しても、電源が入りません。

## ランプ使用時間(タイマー)をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間(タイマー)をリセットしてください。

### 1 電源コードをプロジェクターに接続する

- 電源コードをプロジェクターのAC電源ソケットに接続します。

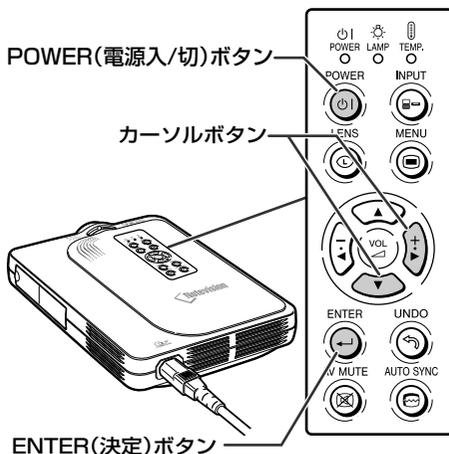


### 2 ランプ使用時間タイマーをリセットする

- プロジェクター本体の 、、 を3つ同時に押しながら、 (電源入/切) を押します。
- ランプ使用時間(タイマー)がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。

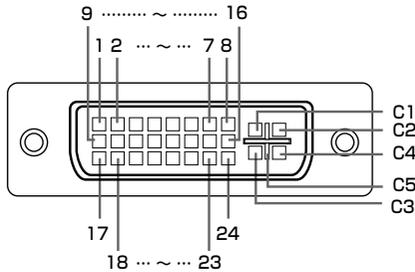
### お知らせ

- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外は行わないでください。リセットをして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因となります。



# 本体のコネクタのピン配置

## DVI デジタル／アナログ入力 1 端子：29 ピンコネクタ



### ●DVIデジタル入力

| ピン番号 | 信号名                 | ピン番号 | 信号名                |
|------|---------------------|------|--------------------|
| 1    | T.M.D.S. データ 2-     | 16   | ホットプラグ検出           |
| 2    | T.M.D.S. データ 2+     | 17   | T.M.D.S. データ 0-    |
| 3    | T.M.D.S. データ 2 シールド | 18   | T.M.D.S. データ 0+    |
| 4    | NC                  | 19   | T.M.D.S. データ 0シールド |
| 5    | NC                  | 20   | NC                 |
| 6    | DDCクロック             | 21   | NC                 |
| 7    | DDCデータ              | 22   | T.M.D.S. クロックシールド  |
| 8    | NC                  | 23   | T.M.D.S. クロック+     |
| 9    | T.M.D.S. データ 1-     | 24   | T.M.D.S. クロック-     |
| 10   | T.M.D.S. データ 1+     | C1   | NC                 |
| 11   | T.M.D.S. データ 1 シールド | C2   | NC                 |
| 12   | NC                  | C3   | NC                 |
| 13   | NC                  | C4   | NC                 |
| 14   | +5V 電源              | C5   | 接地                 |
| 15   | 接地                  |      |                    |

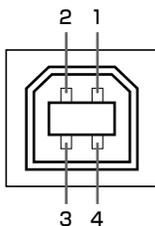
### ●DVIアナログ(RGB)入力

| ピン番号 | 信号名      | ピン番号 | 信号名      |
|------|----------|------|----------|
| 1    | NC       | 16   | ホットプラグ検出 |
| 2    | NC       | 17   | NC       |
| 3    | NC       | 18   | NC       |
| 4    | NC       | 19   | NC       |
| 5    | NC       | 20   | NC       |
| 6    | DDCクロック  | 21   | NC       |
| 7    | DDCデータ   | 22   | NC       |
| 8    | アナログ垂直同期 | 23   | NC       |
| 9    | NC       | 24   | NC       |
| 10   | NC       | C1   | 映像(赤)    |
| 11   | NC       | C2   | 映像(緑)    |
| 12   | NC       | C3   | 映像(青)    |
| 13   | NC       | C4   | アナログ水平同期 |
| 14   | +5V 電源   | C5   | 接地       |
| 15   | 接地       |      |          |

### ●DVIアナログコンポーネント(色差)入力

| ピン番号 | 信号名 | ピン番号 | 信号名   |
|------|-----|------|-------|
| 1    | NC  | 16   | NC    |
| 2    | NC  | 17   | NC    |
| 3    | NC  | 18   | NC    |
| 4    | NC  | 19   | NC    |
| 5    | NC  | 20   | NC    |
| 6    | NC  | 21   | NC    |
| 7    | NC  | 22   | NC    |
| 8    | NC  | 23   | NC    |
| 9    | NC  | 24   | NC    |
| 10   | NC  | C1   | Pr/Cr |
| 11   | NC  | C2   | Y     |
| 12   | NC  | C3   | Pb/Cb |
| 13   | NC  | C4   | NC    |
| 14   | NC  | C5   | 接地    |
| 15   | 接地  |      |       |

## 4 ピン USB コネクタ



### ●USBコネクタ：4ピンBタイプUSBコネクタ

| ピン番号 | 信号   | 信号名     |
|------|------|---------|
| 1    | VCC  | USB電源   |
| 2    | USB- | USBデータ- |
| 3    | USB+ | USBデータ+ |
| 4    | SG   | 接地      |

# RGB入力信号 (推奨信号) について

- 幅広い信号に対応
  - 水平周波数：15kHz～126kHz
  - 垂直周波数：43Hz～200Hz\*
  - ドットクロック：12MHz～230MHz
- シンクオングリーン信号とコンポジットシンク信号に対応。
- 高品位圧縮表示により、UXGA、SXGA に対応。
- AICS リサイズ技術 (高品位圧縮表示/拡大表示) 採用。

下表は VESA 準拠モード一覧です。ただし本機は VESA 規格以外の信号にも対応しています。

| PC/MAC/WS | 解像度         | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | VESA 規格 | DVI サポート 番号 | ディスプレイ |      |   |
|-----------|-------------|-------------|------------|---------|-------------|--------|------|---|
| PC        | VGA         | 640 × 350   | 27.0       | 60      |             |        | 拡大表示 |   |
|           |             |             | 31.5       | 70      |             |        |      |   |
|           |             |             | 37.9       | 85      | ✓           |        |      |   |
|           |             | 720 × 350   | 27.0       | 60      |             |        |      |   |
|           |             |             | 31.5       | 70      |             |        |      |   |
|           |             |             | 27.0       | 60      |             | ✓      |      |   |
|           | 640 × 400   | 31.5        | 70         |         | ✓           |        |      |   |
|           |             | 37.9        | 85         | ✓       | ✓           |        |      |   |
|           |             | 27.0        | 60         |         | ✓           |        |      |   |
|           |             | 31.5        | 70         |         | ✓           |        |      |   |
|           |             | 37.9        | 85         | ✓       | ✓           |        |      |   |
|           |             | 27.0        | 60         |         | ✓           |        |      |   |
|           | 720 × 400   | 31.5        | 70         |         | ✓           |        |      |   |
|           |             | 37.9        | 85         | ✓       | ✓           |        |      |   |
|           |             | 26.2        | 50         |         |             |        |      |   |
|           |             | 31.5        | 60         |         | ✓           |        |      |   |
|           |             | 34.7        | 70         |         |             |        |      |   |
|           |             | 37.9        | 72         | ✓       | ✓           |        |      |   |
|           | 640 × 480   | 37.5        | 75         | ✓       | ✓           |        |      |   |
|           |             | 43.3        | 85         | ✓       | ✓           |        |      |   |
|           |             | 47.9        | 90         |         |             |        |      |   |
|           |             | 53.0        | 100        |         |             |        |      |   |
|           |             | 61.8        | 120        |         |             |        |      |   |
|           |             | 78.5        | 150        |         |             |        |      |   |
|           |             | 80.9        | 160        |         |             |        |      |   |
|           |             | 100.4       | 200        |         |             |        |      |   |
|           |             | SVGA        | 800 × 600  | 31.4    | 50          |        |      |   |
|           |             |             |            | 35.1    | 56          | ✓      |      | ✓ |
|           |             |             |            | 37.9    | 60          | ✓      |      | ✓ |
|           |             |             |            | 44.5    | 70          |        |      |   |
|           | 48.1        |             |            | 72      | ✓           | ✓      |      |   |
|           | 46.9        |             |            | 75      | ✓           | ✓      |      |   |
|           | 53.7        |             |            | 85      | ✓           | ✓      |      |   |
|           | 56.8        |             |            | 90      |             |        |      |   |
|           | 64.0        |             |            | 100     |             |        |      |   |
|           | 77.2        |             |            | 120     |             |        |      |   |
| 98.3      | 150         |             |            |         |             |        |      |   |
| 102.1     | 160         |             |            |         |             |        |      |   |
| 125.6     | 200         |             |            |         |             |        |      |   |
| XGA       | 1,024 × 768 | 35.5        | 43         |         | ✓           |        |      |   |
|           |             | 40.3        | 50         |         |             |        |      |   |
|           |             | 48.4        | 60         | ✓       | ✓           |        |      |   |
|           |             | 56.5        | 70         | ✓       | ✓           |        |      |   |
|           |             | 58.1        | 72         |         |             |        |      |   |
|           |             | 60.0        | 75         | ✓       | ✓           |        |      |   |
|           |             | 68.7        | 85         | ✓       | ✓           |        |      |   |
|           |             | 73.5        | 90         |         |             |        |      |   |
|           |             | 77.2        | 96         |         |             |        |      |   |
|           |             | 80.6        | 100        |         |             |        |      |   |
|           |             | 98.8        | 120        |         |             |        |      |   |
|           |             | 113.2       | 140        |         |             |        |      |   |

| PC/MAC/WS  | 解像度           | 水平周波数 (kHz)   | 垂直周波数 (Hz)    | VESA 規格     | DVI サポート 番号 | ディスプレイ |          |   |       |
|------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|--------|----------|---|-------|
| PC         | SXGA          | 1,152 × 864   | 54.3          | 60          |             | ✓      | 高品位 圧縮表示 |   |       |
|            |               |               | 64.0          | 70          |             |        |          |   |       |
|            |               |               | 64.1          | 72          |             |        |          |   |       |
|            |               |               | 67.5          | 75          | ✓           | ✓      |          |   |       |
|            |               |               | 75.7          | 80          |             |        |          |   |       |
|            |               |               | 77.3          | 85          |             |        |          |   |       |
|            |               | 1,152 × 882   | 90.2          | 100         |             |        |          |   |       |
|            |               |               | 54.8          | 60          |             |        |          |   |       |
|            |               |               | 65.9          | 72          |             |        |          |   |       |
|            |               |               | 67.4          | 74          |             |        |          |   |       |
|            |               |               | 64.0          | 60          | ✓           | ✓      |          |   |       |
|            |               |               | 74.6          | 70          |             |        |          |   |       |
|            | 1,280 × 1,024 | 78.1          | 74            |             |             |        |          |   |       |
|            |               | 80.0          | 75            | ✓           |             |        |          |   |       |
|            |               | 91.1          | 85            | ✓           |             |        |          |   |       |
|            |               | 108.4         | 100           |             |             |        |          |   |       |
|            |               | SXGA*         | 1,400 × 1,050 | 64.0        | 60          |        |          |   |       |
|            |               |               |               | 74.7        | 52          |        |          |   |       |
|            | UXGA          | 1,600 × 1,200 | 75.0          | 60          | ✓           |        |          |   |       |
|            |               |               | 81.3          | 65          | ✓           |        |          |   |       |
|            |               |               | 87.5          | 70          | ✓           |        |          |   |       |
|            |               |               | 90.1          | 72          |             |        |          |   |       |
|            |               |               | 93.8          | 75          | ✓           |        |          |   |       |
|            |               |               | 106.3         | 85          | ✓           |        |          |   |       |
| PC/MAC 13" |               |               | VGA           | 640 × 480   | 34.9        | 67     |          |   | 拡大表示  |
| PC/MAC 19" |               |               | XGA           | 1,024 × 768 | 48.4        | 60     | ✓        | ✓ | リアル表示 |
|            | 60.0          | 75            |               |             | ✓           | ✓      |          |   |       |
| PC/MAC 21" | SXGA          | 1,280 × 1,024 | 80            | 75          | ✓           |        | 高品位 圧縮表示 |   |       |
| MAC 16"    | SVGA          | 832 × 624     | 46.8          | 75          |             |        | 拡大表示     |   |       |
|            |               |               | 49.6          | 75          |             |        |          |   |       |
| MAC 21"    | SXGA          | 1,152 × 870   | 68.5          | 75          |             |        |          |   |       |
| HP (WS)    | SXGA          | 1,280 × 960   | 1,280 × 1,024 | 78.1        | 72          |        | 高品位 圧縮表示 |   |       |
| PC (WS)    |               |               | 60.0          | 60          | ✓           |        |          |   |       |
| WS         |               |               | 85.9          | 85          |             |        |          |   |       |
| SGI (WS)   |               |               | 1,280 × 1,024 | 53.5        | 50          |        |          |   |       |
|            |               |               |               | 76.8        | 72          |        |          |   |       |
| SUN (WS)   |               |               | 1,152 × 900   | 60.9        | 66          |        |          |   |       |
| 71.9       | 76            |               |               |             |             |        |          |   |       |

## メモ

- 本機は、同時 (CRT/LCD) モードでノート型パソコンからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型パソコン側で液晶表示をオフにして "CRTのみ" モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型パソコンの操作マニュアルに記載されています。
  - 本機に 640 × 350 VESA 形式の VGA 信号を入力した場合、スクリーン上では "640 × 400" と表示されます。
  - 本機に 1,600 × 1,200 VESA 形式の信号を入力した場合は、サンプリングを行い、映像を 1,024 本の線で表示するため、映像の一部が欠けることがあります。
- ※ 垂直周波数 100Hz 以上の信号を入力し画面表示を出しているときは、一時的に画面にノイズが現れることがあります。

# 故障かな?と思ったら

| こんなとき  | ここをお調べください   | ページ         |
|--|--|-------------|
| <br>映像も音声もない            | ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。  | 20          |
|  | ●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。  | -           |
|  | ●表示させる画面の選択がまちがっていませんか。  | 29          |
|  | ●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。   | 21~26       |
|  | ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。   | 13          |
|  | ●ノートパソコンを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。<br>●AVミュート画面になっていませんか。   | -<br>29     |
| <br>音声は出るが映像が出ない        | ●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。   | 21~26       |
|  | ●映像調整の「明るさ」が「-(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。   | 40          |
| <br>色がうすい、色あいが悪い        | ●映像調整は、正しく調整されていますか。   | 40          |
|  | <ビデオ入力するとき><br>●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。   | 55          |
|  | <入力1のとき><br>●入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。  | 41          |
| <br>映像がボヤける<br>ノイズが発生する | ●レンズのフォーカスは合っていますか。  | 31          |
|  | ●投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。  | 17~18       |
|  | <コンピュータ入力するとき><br>●同期調整(クロック調整)を行ってください。<br>●同期調整(位相調整)を行ってください。   | 42・44<br>42 |
|  | ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。   | -           |
|  | ●デジタルノイズリダクション(DNR)の設定は適切ですか?  | 54          |
| <br>映像は出るが音声が出ない      | ●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。   | 21~26       |
|  | ●音量が最小になっていませんか?   | 29          |
| キャビネットから時々「ピシッ」と音がする   | ●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。  | -           |
| お知らせランプが点灯する   | ●「お知らせ表示について」をご覧ください。  | 70          |
| 画面のキャプチャができない  | ●INPUT(入力)1の入力信号はアナログRGB/デジタルRGBのXGA(1024×768の信号ですか。それ以外の信号ではキャプチャできません。   | 56          |
| P in Pができない  | ●INPUT(入力)1の信号がSXGAを超える解像度になっていませんか。<br>●INPUT(入力)1の入力信号が525I、525P、750P、1125Iのコンポーネント(色差)信号を入力していませんか。<br>●INPUT(入力)1の入力信号がRGB信号でインターレースのモードになっていませんか。 | 51          |
| 本体ボタンで電源を入/切できない   | ●キーロックレベルが設定されていませんか。<br>レベルBに設定されている場合、すべてのボタンが動きません。レベルAに設定されている場合、入力切替、音量、AVミュート以外のボタンは動きません。   | 60          |
| 入力1のコンポーネントモードで画面が緑がる  | ●入力信号タイプが正しく設定されていますか。   | 41          |

| こんなとき                | ここをお調べください  | ページ |
|----------------------|---|-----|
| 入力1のRGBモードで画面がピンクがかる | <ul style="list-style-type: none"> <li>●入力信号タイプが正しく設定されていますか。</li> </ul>  | 41  |
| 映像が暗い                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプ交換お知らせ表示ランプが赤色点滅していませんか。赤色点滅しているときは、ランプ交換してください。</li> </ul>  | 70  |
|                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●RGBモニター出力用アダプターを使ってモニター出力を接続しているのに、「モニター出力」の設定を「使用しない」にしていますか。</li> </ul>   | 58  |
| 映像が明るすぎて白っぽくなる       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●RGBモニター出力用アダプターを使ってモニター出力を接続していないのに、「モニター出力」の設定を「使用する」にしていますか。</li> </ul>   | 58  |
|                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●映像調整は、正しく調整されていますか。</li> </ul>  | 40  |
| 本体の音量ボタンが働かない        | <p>次のときは本体の音量ボタンは動きません。(リモコンのVOL+/-で操作してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●メニュー表示中</li> <li>●レンズメニュー表示中</li> <li>●P in P動作中</li> <li>●ENLARGE (2倍以上)</li> <li>●パネル解像度より大きい画面解像度のドットバイドット</li> </ul> | —   |

## アフターサービスについて

### 保証について

- ① このプロジェクターには、保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。ただし、光源(ランプ)のみは6ヵ月となります。保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。故障のときは、お申しつけにより「出張修理」いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間中は修理などアフターサービスについておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談センターにお問い合わせください。
- ④ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

### 保証期間

- 光源(ランプ)以外の部品代および修理料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
- 光源(ランプ)およびその修理料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。(6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。)

### お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

### 愛情点検



### 長年ご使用のプロジェクターの点検を！ こんな症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。●電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいに出不い。●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

### 補修用性能部品について

プロジェクターの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です

### 修理を依頼されるときは

故障のときは使用をやめて、電源プラグをコンセントから抜き修理をお申しつけください。故障のままお使いになったり、ご自分での修理は危険です。ご転居、ご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理を依頼することができない場合は、もよりのシャープお客様相談センターにお問い合わせください。

- 修理依頼時に次のことをお知らせください。

- 商品名 デジタルマルチメディアプロジェクター
- 形 名 PG-M20X
- 故障状況(できるだけくわしく)
- ご氏名
- ご住所(付近の目印など道順)
- お電話番号

# お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ..... **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ..... **お客様相談センター** へ

## 修理相談センター

- 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間 \*月曜～土曜：午前9時～午後6時 \*日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。  
 呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注） 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

|                        |       | ＜東日本地区＞          | ＜西日本地区＞          |
|------------------------|-------|------------------|------------------|
| ○ 携帯電話／PHSでのご利用は ..... | 一般電話  | 043 - 299 - 3863 | 06 - 6792 - 5511 |
| ○ FAXを送信される場合は .....   | F A X | 043 - 299 - 3865 | 06 - 6792 - 3221 |

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

- ◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、

下記地区別窓口にも承っております。

■受付時間 \*月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は.....\*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

| 担当地域    | 拠点名          | 電話番号         | 郵便番号      | 所在地               |
|---------|--------------|--------------|-----------|-------------------|
| 北海道地区   | 札幌サービスセンター   | 011-641-4685 | 〒063-0801 | 札幌市西区二十四軒1条7-3-17 |
| 東北地区    | 仙台サービスセンター   | 022-288-9142 | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東3-1-27   |
| 関東地区    | さいたまサービスセンター | 048-666-7987 | 〒330-0038 | さいたま市宮原町2-107-2   |
|         | 宇都宮サービスセンター  | 028-637-1179 | 〒320-0833 | 宇都宮市不動前4-2-41     |
|         | 東京テクニカルセンター  | 03-5692-7765 | 〒114-0013 | 東京都北区東田端2-13-17   |
|         | 多摩サービスセンター   | 042-586-6059 | 〒191-0003 | 日野市日野台5-5-4       |
|         | 千葉サービスセンター   | 047-368-4766 | 〒270-2231 | 松戸市稔台295-1        |
|         | 横浜サービスセンター   | 045-753-4647 | 〒235-0036 | 横浜市磯子区中原1-2-23    |
| 東海地区    | 静岡サービスセンター   | 054-285-9340 | 〒422-8006 | 静岡市曲金6-8-44       |
|         | 名古屋サービスセンター  | 052-332-2623 | 〒454-8721 | 名古屋市中川区山王3-5-5    |
| 北陸地区    | 金沢サービスセンター   | 076-249-2434 | 〒921-8801 | 石川郡野々市町御経塚町4-103  |
| 近畿地区    | 京都サービスセンター   | 075-672-2378 | 〒601-8102 | 京都市南区上鳥羽菅田町48     |
|         | 大阪テクニカルセンター  | 06-6794-5611 | 〒547-8510 | 大阪市平野区加美南3-7-19   |
|         | 神戸サービスセンター   | 078-453-4651 | 〒658-0082 | 神戸市東灘区魚崎北町1-6-18  |
| 中国地区    | 広島サービスセンター   | 082-874-8149 | 〒731-0113 | 広島市安佐南区西原2-13-4   |
| 四国地区    | 高松サービスセンター   | 087-823-4901 | 〒760-0065 | 高松市朝日町6-2-8       |
| 九州地区    | 福岡サービスセンター   | 092-572-4652 | 〒816-0081 | 福岡市博多区井相田2-12-1   |
| 沖縄・奄美地区 | 那覇サービスセンター   | 098-861-0866 | 〒900-0002 | 那覇市曙2-10-1        |

## お客様相談センター

■受付時間 \*月曜～土曜：午前9時～午後6時 \*日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

|        |                             |                                |                               |
|--------|-----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 東日本相談室 | TEL <b>043 - 297 - 4649</b> | FAX<br><b>043 - 299 - 8280</b> | 〒261-8520<br>千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2 |
| 西日本相談室 | TEL <b>06 - 6621 - 4649</b> | FAX<br><b>06 - 6792 - 5993</b> | 〒581-8585<br>大阪府八尾市北亀井町3-1-72 |

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（02.04）

# 仕様

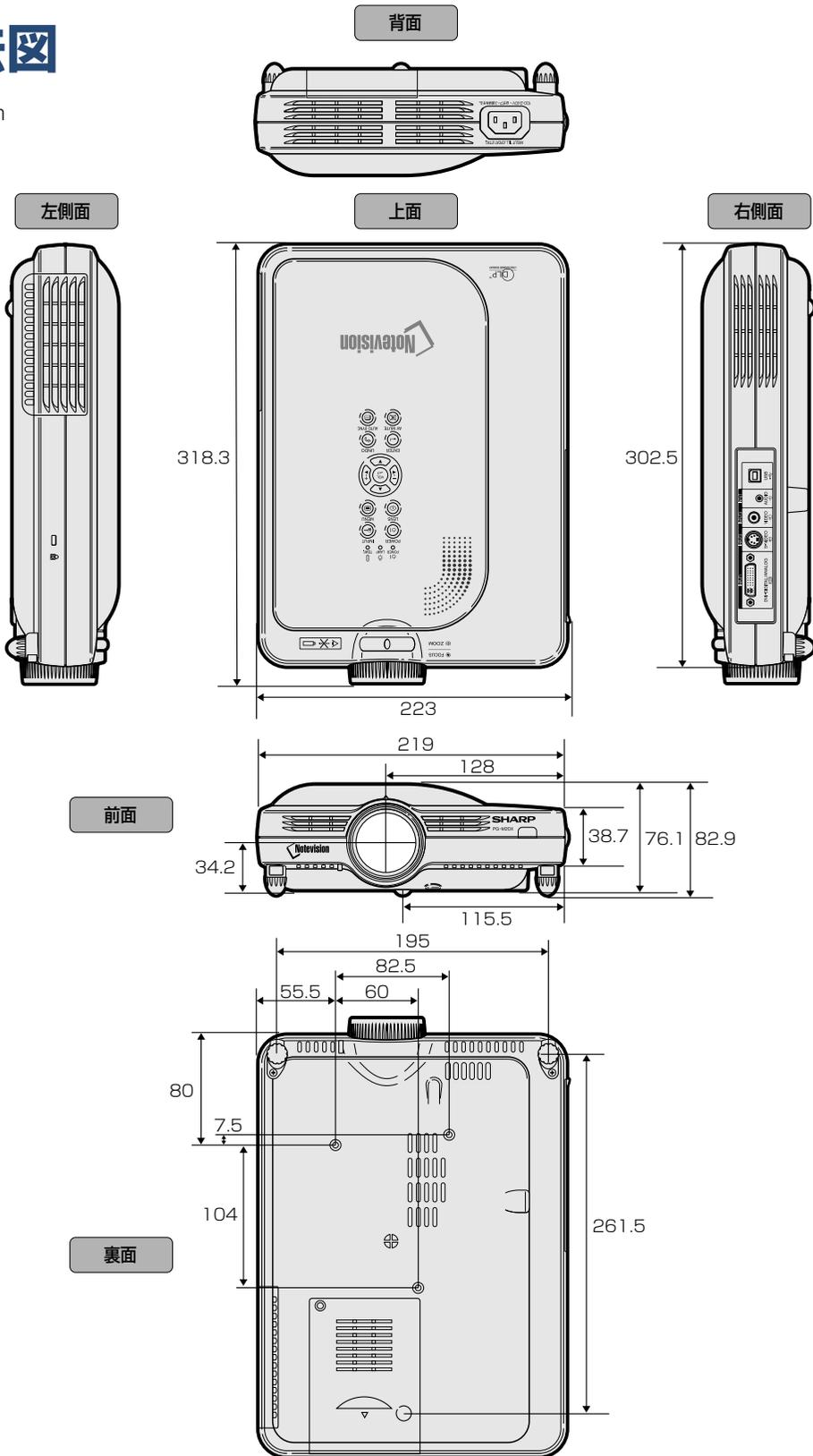
|   |   |   |
|---|---|---|
| 品名  | デジタルマルチメディアプロジェクター                        |   |
| 形名  | PG-M20X                                   |   |
| 表示方式  | 単板DMD™ カラーホイール色分離方式                       |   |
| パネル   | パネルサイズ                                    | 0.7型 (横14.0mm×縦10.5mm)  |
|   | 画素数                                       | 786,432 (縦1,024×横768) ドット   |
| 標準レンズ   | 1~1.2倍手動ズームレンズ F1.75~2.04 f 28.0mm~33.5mm |   |
| ランプ   | 210W                                      |   |
| 音声出力  | 2W (モノラル)                                 |   |
| スピーカー   | 角型4×3cm 16Ω                               |   |
| 定格電圧  | AC100V~240V                               |   |
| 定格周波数   | 50/60Hz                                   |   |
| 入力電流  | 3.2A                                      |   |
| 消費電力  | 290W (リモコン待機時 1W以下)                       |   |
| 使用温度範囲  | 5℃~35℃                                    |   |
| 保管温度範囲  | -20℃~+60℃                                 |   |
| 入力端子  | コンピュータRGB/<br>コンポーネント入力<br>端子             | DVI端子 (デジタル/アナログ/コンポーネント共用)<br>: DVI端子29ピン(INPUT1)                            |
|   | S映像入力端子                                   | 輝度信号入力: 1.0Vp-p、75Ω、同期負: 4ピンミニDINコネクタ(INPUT2)<br>色信号入力: 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω |
|   | ビデオ入力端子                                   | 映像: 1.0Vp-p、75Ω、同期負: RCAピン端子(INPUT3)  |
|   | 音声入力端子                                    | φ3.5 ミニジャック端子   |
| USB端子   | 4ピンUSB端子 (Bタイプ)                           |   |
| キャビネット  | プラスチック                                    |   |
| 外形寸法  | 幅 219mm、奥行303mm、高さ 76mm (突起部除く)           |   |
| 質量  | 2.6 kg                                    |   |
| <付属品> ・リモコン ・単4形乾電池×2本 ・電源コード ・DVI/15ピンミニD-subケーブル<br>・端子部ふた(装着出荷) ・USBケーブル ・レンズキャップ(装着出荷) ・レンズキャップストラップ<br>・チャリングバッグ ・取扱説明書(本書) ・保証書 |   |   |

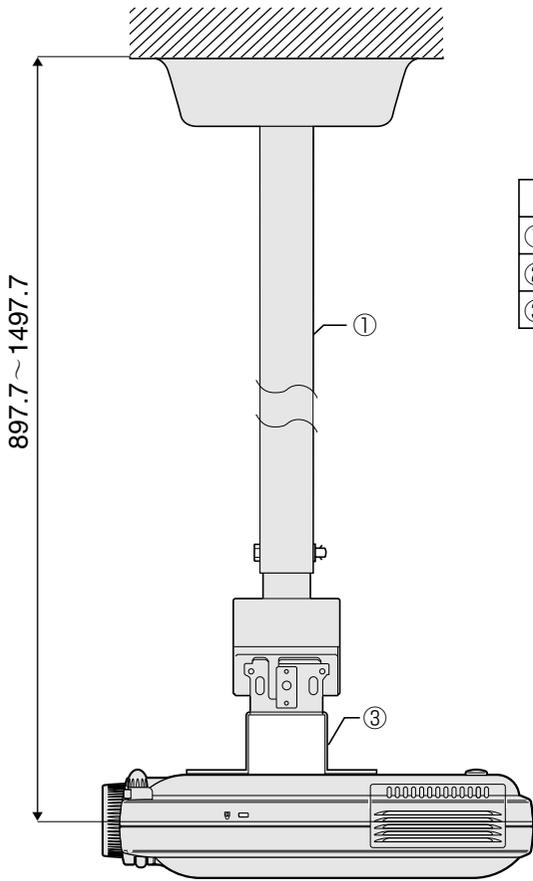
## お願い

- ・DMD™素子は非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

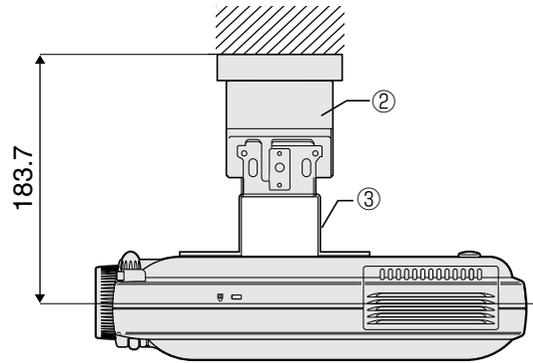
# 寸法図

単位:mm





|   | 品名          | 型名       |
|---|-------------|----------|
| ① | 高天井用取付けユニット | AN-TK201 |
| ② | 低天井用取付けユニット | AN-TK202 |
| ③ | 取付けアダプター    | AN-60KT  |



## DVI

Digital Visual Interface. アナログインターフェイスもサポートした、ディスプレイ用のデジタルインターフェイス。

## sRGB

IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「sRGB」モードに切り換えると、DLPの特性を考慮した色変換を行い、原画像に基いた自然な色合いで表示します。

## 一覧表示

各調整項目の設定内容を表示します。

## 色温度

プロジェクターに入力された映像のタイプに合わせて、色温度を調節する機能です。自然な肌色を表現したいときは、色温度を下げて、温かさ、赤っぽさを強調し、より明るい画像にしたいときは、色温度を上げて、冷たさ、青っぽさを強調します。

## オープニング画面

プロジェクターの電源が入ったときに表示される映像です。

## 画像表示モード

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。「標準」・「フル」・「ドットバイドット」・「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ワイド」から選択できます。

## ガンマ補正

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合、映像の暗い部分をより明るくして映像を見やすくする機能です。「標準」、「プレゼンテーション」、「シネマ」、「ゲーム」から選択できます。

## キーストーン補正

プロジェクターの映像を投射したとき、台形に歪んだ映像をデジタル修正するための機能です。

## キーロック

いたずら防止のため、プロジェクター本体のボタン(キー)操作をロックできます。

## クロック調整

コンピュータ入力時、映像の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

## 高品位圧縮表示／拡大表示

解像度が低い、または高い映像を投射する場合、プロジェクターの解像度に合わせて映像の画像サイズを高品位に調整します。

## システムロック

プロジェクターに設定された「キーコード」を入力しないと信号を入力しても、画像を投射できなくする機能です。

## 自動同期調整

コンピュータの画像を最適な状態で投射する機能です。

## スクイーズ(フル)

16:9のワイド画像を4:3(縦長サイズ)に圧縮したスクイーズ映像を投射するとき、映像を均一に左右に引き伸ばして、16:9スクリーンいっばいに投射するモードです。

## 静止画

動く映像を一時停止する機能です。

## 縦横比

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常の縦横比は4:3です。縦横比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

## デジタルシフト

ビデオ信号やハイビジョン信号入力時に画像表示モードを標準、スクイーズ(フル)、ワイドに設定すると、またはで簡単に画像を上下に移動することができます。

## ドットバイドット

映像を元の解像度で投射するモードです。

## パスワード

オプション2メニューの設定内容を変更されたくないときはパスワード(暗証番号)を設定します。

## ピクチャーインピクチャー

コンピュータ画面上に小画面でビデオを表示する方法です。

## 標準

4:3の映像を4:3のアスペクト比を保ったまま、16:9スクリーンの内側いっばいに投射するモードです。

## プログレッシブモード

プログレッシブ変換のモードを選択できます。「2D プログレッシブ」、「3D プログレッシブ」、「フィルム」から選択できます。

## 無信号時画面

信号が入力されていないときに投射される初期設定映像です。

## ワイド

4:3の映像を投射するとき、映像の中心部付近の縦横比を維持しながら、周辺部分だけを引き伸ばして、16:9スクリーンいっばいに投射するモードです。

# 索引

## 記号英数

|                        |    |
|------------------------|----|
| 2D プログレッシブ             | 41 |
| 3D プログレッシブ             | 41 |
| AC 電源ソケット              | 20 |
| AUDIO (音声) 端子          | 24 |
| AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン | 44 |
| AV MUTE ボタン            | 29 |
| BACK (戻し) ボタン          | 26 |
| DNR                    | 54 |
| DVI/15 ピンミニ D-sub ケーブル | 23 |
| ENLARGE (拡大/縮小) ボタン    | 49 |
| ENTER (決定) ボタン         | 36 |
| FORWARD (送り) ボタン       | 26 |
| FREEZE (静止画) ボタン       | 48 |
| GAMMA (ガンマ補正) ボタン      | 50 |
| INPUT (入力切替) ボタン       | 29 |
| INPUT (入力) 1 端子        | 23 |
| INPUT (入力) 2 端子        | 24 |
| INPUT (入力) 3 端子        | 24 |
| LENS (レンズ) ボタン         | 32 |
| MENU (メニュー) ボタン        | 36 |
| OSD 表示                 | 54 |
| P in P                 | 51 |
| POWER (電源入/切) ボタン      | 28 |
| RESIZE (画面サイズ) ボタン     | 46 |
| sRGB                   | 53 |
| UNDO (戻す) ボタン          | 32 |
| USB ケーブル               | 26 |
| USB 端子                 | 26 |
| VOLUME (音量) ボタン        | 29 |

## A行

|               |      |
|---------------|------|
| アジャスター        | 16   |
| アジャスターリリースボタン | 16   |
| 一覧表示          | 66   |
| 色温度           | 40   |
| 映像左右反転/上下反転機能 | 60   |
| 映像信号方式        | 55   |
| 映像調整          | 40   |
| オープニング画面      | 57   |
| 温度表示          | 9、70 |

## K行

|               |      |
|---------------|------|
| 拡大表示          | 49   |
| カスタムイメージキャプチャ | 56   |
| 画像取り込み        | 56   |
| 画面表示言語        | 30   |
| カラーマネージメント    | 53   |
| 乾電池           | 13   |
| キーストーン補正 (調整) | 32   |
| キーロックレベル      | 60   |
| キャリングバッグ      | 68   |
| クロック          | 42   |
| 吸気孔           | 8、69 |
| 言語選択          | 30   |

## S行

|             |    |
|-------------|----|
| 色差入力        | 23 |
| システムロック     | 63 |
| 自動電源オフ      | 52 |
| 自動同期調整      | 44 |
| 自動同期調整画面    | 44 |
| 自動入力サーチ     | 53 |
| 省電力モード      | 52 |
| ズーム (拡大/縮小) | 49 |
| ズーム (調整)    | 31 |

|              |       |
|--------------|-------|
| ズーム (表示イメージ) | 47    |
| ズームレバー       | 31    |
| 水平位相         | 42    |
| スクイーズ        | 47    |
| スクリーンの設置     | 17    |
| スピーカー        | 10、29 |
| 静止画機能        | 48    |
| 設定値初期化       | 65    |

## T行

|            |       |
|------------|-------|
| 端子部ふた      | 10、25 |
| 調整内容一覧     | 34    |
| デジタルシフト    | 33    |
| 電源コード      | 20    |
| 電源ソケット     | 20    |
| 電源表示       | 70    |
| 天吊り        | 19    |
| 投映方式       | 19    |
| 盗難防止用コネクター | 11    |
| 同期調整       | 44    |
| 特殊モード      | 43    |
| ドットバイドット   | 47    |

## N行

|          |    |
|----------|----|
| 入力1~3モード | 29 |
| 入力信号確認   | 43 |
| 入力信号タイプ  | 41 |
| 入力モード    | 29 |

## H行

|            |       |
|------------|-------|
| 排気孔        | 11、69 |
| パスワード      | 61    |
| 標準         | 47    |
| フィルム       | 41    |
| フォーカス (調整) | 31    |
| フォーカスリング   | 31    |
| 付属品        | 14    |
| フル         | 47    |
| プログレッシブモード | 41    |
| 別売品        | 14    |
| 本体ランプ      | 70    |

## M行

|          |    |
|----------|----|
| 無信号時表示画面 | 57 |
| メモリー選択   | 43 |
| メモリー保存   | 42 |
| モニター出力   | 58 |

## L行

|              |       |
|--------------|-------|
| ランプ          | 58、71 |
| ランプ交換        | 9、71  |
| ランプ交換お知らせ表示  | 70    |
| ランプ使用時間      | 58    |
| リフレッシュレート    | 49、51 |
| リモコン         | 12    |
| リモコン信号       | 13    |
| 冷却ファン        | 30    |
| レンズキャップ      | 11、68 |
| レンズキャップストラップ | 11    |
| レンズ調整        | 31    |
| レターボックス      | 47    |

## W行

|                  |    |
|------------------|----|
| ワイド              | 47 |
| ワイヤレスプレゼンテーション機能 | 26 |

お問い合わせは、お客様ご相談窓口へ

■ この製品についてのご意見・ご質問  
「お客様相談センター」へお申し付けください。

東日本相談室

☎ (043)297-4649

FAX(043)299-8280

〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室

☎ (06)6621-4649

FAX(06)6792-5993

〒581-8585 八尾市北亀井町3-1-72

受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後6時  
日曜日・祝日 午前10時～午後5時  
(年末年始は除きます。)

■ 製品の故障や部品のご購入などの相談  
「修理相談センター」へお申し付けください。  
(くわしくは、78ページをご覧ください。)  
修理サービスを依頼される前に、76ページの「故障かな？と  
思ったら」をもう一度お読みください。

# シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区长池町 22 番 22 号  
電話 (06) 6621-1221 (大代表)  
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町 174 番地  
電話 (0287) 43-1131 (大代表)